

情狀ニ從ヒ尙ホ苛嚴ヲ加フルヲアル可シ
又破産ヲ爲セシ商人左ノ如キ場合ニ於テハ同上ノ
刑ニ處セララル可シ

(イ) 猶ホ數人ニ對スル負債アル者返納ノ方ヲ定メ
ス妄リニ商業ヲ始メ或ハ商法上ニ於テ再ヒ商業
ヲ開カシニハ若干ノ資本ヲ要スト雖モ猶ホ其貯
藏ナク官府ニ對シ全ク所有産ノ高ヲ偽リ其業ヲ
始ムル時

(ロ) 已ニ分産ヲ爲セシキ再ヒ商權ヲ得其商業ヲ復
セント欲セハ開商業規則ニ從ヒ各種ノ取極メヲ
要セシキ虛妄ヲ以テ其許可ヲ得シ者

(ハ) 成規ノ賣買帳へ全ク登記セス或ハ其登記太々
欠漏多クシテ商賣ノ都合財産ノ高之レニ依テ量
リ得サラシムル時

(ニ) 帳簿記載ニ方リ官廳ノ目ヲ欺ク可キ爲メ故ヲ
ニ妄誕ヲ記シ或ハ帳簿ヲ全ク毀損スル歟又ハ其
若干部分ヲ毀損剝除シ記事ヲ摩滅消褪セシ時

(ホ) 更ニ負債ヲ生シ或ハ許多金圓物品器具等數多
ノ受物遺果シニ於テ信ス可キ答辨ヲ爲シ能ハサ
ル時

(ハ) 公債證書若クハ物品ヲ定メテ空賣ヲ爲シ其他
敢テ其所有財産ノ高ニ應セサル過大ノ賣買ヲ企
ル時

(ト) 負債高已ニ所有財産ノ數ヲ超過スルヲ知リテ
カラ故ラニ物品ヲ低價ニ賣却シ或ハ債主ニ損害
ヲ與フ可キ假令未ダ詐偽ト爲ス可ラスト雖モ所
業ヲ以テ勉メテ分産ヲ遅延セント欲スル時

若シ商社ノ一人分産ニ及フ時ハ同社中ニシテ其負
債ニ及ハシメシ責ヲ辭シ能ハサル者齊シク處刑ヲ
受ク可シ又破産ヲ爲セシ商人躬親ヲ專テ執ラサリ

シ時ハ其事務ヲ擔當セシ代理人ニモ亦其刑ヲ加フ
可シ

破産ヲ爲セシ商人更ニ商業ノ許可ヲ得ン爲メ成規
ノ資本貯蓄ノ届ケ中財産ノ真狀ヲ偽リ官廳ヲ欺ク
時ハ本人ハ言フニ及ハス自他其目的ヲ達ス可キ爲
メ偽テ其財産所有ノ數ヲ保證シ或ハ一時金圓財産
ヲ貸與シ假リニ所有ノ高ヲ飾成シ又ハ該人ニ負債
ト爲シ若クハ貸金ヲ默匿シ爾他諸様ノ方法ヲ以テ
其虛ヲ修飾スル者皆本輕罪共犯ノ罪トシ刑ス可シ

○普魯士 千八百五十一年四月十四日ノ刑法

第二百五十九條 商人船頭又ハ製作場所所有主其拂ヒ

金ヲ淹滞シタル者左ノ所行ニ涉リタルキハ詐欺分

散ノ罪犯トシテ十五年以下ノ徒刑ニ處ス可シ

第一款 己ノ財産ノ全部若クハ幾分ヲ隱藏シ或ハ

他方ニ移シタルキ

第二款 負債即チ義務ノ全部若クハ其一部ヲ虚捏

シテ之ヲ申立或ハ確定シタルキ

第三款 己ノ債主ニ損耗ヲ負ハシムルノ故意ニ出

テ律上命シタル或ハ職業ノ性質上必須ナル商賣

帳ノ記載ヲ抛棄シタルキ

第四款 若シ前ト同様ノ故意ニ出テ商賣帳ヲ隱藏

シ又ハ滅却シ又ハ財産高ノ見込ヲ立ル能ハサル

如ク其帳ヲ記載シ若クハ變態シタルキ

若シ酌量輕減ス可キ情狀ヲ判然審定シタルキハ三

ヶ月以上ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ同時ニ有期ノ民權

剝奪ヲ申渡シ得可シ

第二百六十一條 商人船頭又ハ製作場所所有主其拂ヒ

金ヲ淹滞シタル者左ノ所行ニ涉リタルキハ平常分

散ト爲シ二年以下ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

第一款 奢靡冗費賭博或ハ商品若クハ相場會社爲替證券ヲ以テスル相場商賣ニ依テ過大ノ金額ヲ費耗シ或ハ負債ヲ爲シタル者

第二款 法律上命シタル商賣帳ノ記載或ハ職業ノ性質ニ從ヒ必須ナル商賣帳ノ記載ヲ拋棄シタル者
或ハ右ノ帳簿ヲ隱藏シ若クハ滅却シ若クハ其帳ヲ以テ財産高ノ見込ヲ立ル能ハサル如ク不規則ニ記載シタル者

第三款 法律上ノ定例若クハ己カ職業ノ性質ニ從ヒ缺ク可ラサル毎歳ノ財産決算ヲ拋棄シタル者

第四款 最終決算ニ從ヘハ所有ノ財産ハ負債ノ二分一ヲモ償フニ足ラスト雖モ此ニ關セス尙ホ新負債ヲ爲シ或ハ物品若クハ爲替證券ヲ不當ノ低價ニ賣却シタル者

第二百六十二條 牙僧者又ハ公證人商業ヲ營ミタル者若シ其拂ヒ金ヲ淹滞シテ此篇中ニ掲ケタル所行ノ罪ヲ犯シタル者ハ商人ト同般ノ刑ニ處ス可シ

○薩克索 千八百六十八年十月一日改正ノ刑法

第三百四條 左ノ所行ニ涉リタル者ハ詐欺分散ノ罪

犯ナリトス

第一款 眞實若クハ口實ノ不能還償ヲ已ノ故意ニ
 テ申立テ或ハ己ニ裁判上若クハ裁判外ニ於テ其
 申渡ヲ受ケタルニ當リ或ハ債主ニ義務ヲ得セシ
 ム可キ爲メ裁判上處分ヲ待ツノ際何レノ方法ヲ
 論セス債主ノ全員若クハ其中重立テタル債主ニ
 満足ヲ得セシム可キ爲メニ充備セシ現品ノ全部
 若クハ一部ヲ不法ニ隱藏シ或ハ賣却シ或ハ漫ニ
 他人ニ投與スル等ノ所業ヲ爲シタル者

第二款 己ノ財産ニ就テ身代限ノ着手ヲ受ケタル

後債主ニ損耗ヲ負ハシメシカ爲メニ身代限ニ係
 ル物品ノ全部若クハ其一部ヲ不法ニ處分スル者
 他ノ債主ニ先タテ債主ノ一名ノミニ全償スルニ際
 シ若シ其債主ニ還償ス可キ負債高ヨリ過剩ノ金ヲ
 與ヘシキ或ハ詐欺ノ義務ヲ設爲シ以テ全償ヲ成シ
 タルキ或ハ身代限處分ノ後全償ヲ成シタルキハ此
 條中ニ於テ不法ノモノト見做ス可シ

第三百五條 詐欺分散ノ刑

凡詐欺分散ハ四年以下ノ工役ノ刑若クハ徒刑ニ處
 ス可シ

(情ヲ知テ財産高偽誓ヲ爲シ或ハ身代限充備物ニ害ヲ加フル爲メニ詐欺ヲ行フノ場合ニ在テハ六年以下ノ徒刑)

第三百六條 輕犯ノ場合

家什ヲ他方ニ移シ或ハ常費若クハ活計ノ爲メニ僅少ノ金員ヲ他方ニ移シタルキハ二年以下ノ禁獄ニ處ス可シト雖モ其債主ノ呈訴ヲ待テ始メテ之ヲ處決ス可シ

第三百七條 輕意ノ分散

過度ノ冗費或ハ不法ノ家政或ハ成不成ヲ徒期シ已

ノ財産ニ應セザル事業ヲ起シ或ハ之ニ類似セル所行等ニ依テ過大ノ負債ヲ釀成シ而シテ身代限ヲ致シタル者ハ六ヶ月以下ノ禁獄ニ處ス可シ但シ此場合ニ於テ犯者其刑ヲ免宥セララル可キモノハ判決申渡前ニ於テ諸債主ヨリ各自満足セシメテ申立タルキニ在リトス

第三百八條 重キ場合

已ニ不能還償ヲ了知セシ後ニ不正ノ記簿ヲ爲シ又ハ掛買等ヲ爲ス

第三百九條 輕卒ノ負債

某人未タ分散ニ至ラサル前又ハ詐欺分散ノ豫算ヲ企テシニ非スシテ只輕卒ニ出テ負債ヲ爲シタルカ爲メ債主ニ損耗ヲ負ハシメタルキハ其債主ノ呈訴ヲ待テ六ヶ月以下ノ禁獄ニ處ス可シ

第三百十條 身代限ノ物品ヲ隱掠スルヲ

凡詐欺分散ノ外既ニ身代限ニ迫ツテ債主ニ損耗ヲ負ハシメシカ爲メニ財産ノ一部分ヲ賣却シ又ハ他方ニ移シ或ハ既ニ身代限ニ陥リタル後同上ノ目的ニテ既ニ封印ヲ爲シタル物品ヲ處分スル者ハ債主ノ呈訴ヲ待テ之ヲ四年以内ノ禁獄或ハ二年以下ノ

工役ノ刑ニ處ス可シ

○換塞 千八百四十一年九月十七日ノ刑法

第四百二條 正ニ身代限ニ迫リ若クハ既ニ其申渡ヲ受ケ或ハ不能還償ノ際ニ方リ詐欺ノ所行ニ依テ他ノ債主ニ先タテ止タ債主ノ一名ニ決算ヲ爲シ或ハ債主ニ損耗ヲ負ハシメシカ爲メニ金錢若クハ有價ノ物品ヲ隱藏シ或ハ他方へ移シ或ハ貸金ヲ黙秘シ或ハ陰ニ貸金ヲ請取り或ハ陽ニ債主ヲ設爲シ或ハ其他詐欺ノ方法ヲ以テ負債高ヲ増大ニ爲シタル者

若シ商人兌換商又ハ製作場主等ニアラスシテ右ノ所行ニ因リ詐欺分散ノ罪(第四百三條)ヲ犯シタルキハ第四十四篇第十一條詐欺取財ノ定規ニ照準シテ處決ス可シ

第四百三條 不能還償ニ至リシ商人兌換商又ハ製作場主若シ左ノ場合ニ在テ債主ニ對シ全ク故意ノ詐欺ヲ行ヒシニ非サルノ情狀ヲ明證シ得サルニ於テハ詐欺分散ノ罪犯ナリトス
商人兌換商又ハ製作場主延期條約ニ因リ債主ニ損耗ヲ負ハシムルノ故意ヲ以テ不能還償ヲ偽陳シ延

期條約ヲ取結ヒタルキハ詐欺分散ノ犯罪トス

○梅略稜不爾厄斯乖零 詐欺及ヒ輕卒分散ノ罪ニ就テ千八百五十

九年七月十二日ノ布令

第一條 身代限ノ形態ニ陷リ依テ左ノ所行ニ涉リタル者ハ詐欺分散ノ犯罪トス

第一款 詐欺ノ目的ニ依リ債主ニ對シ不能還償ヲ偽陳シ而シテ身代限ヲ行ハンヲ申告シ若クハ身代限ノ着手ヲ申告ケタルキ

第二款 身代限着手ノ前若クハ其後ニ至リ債主ニ

損耗ヲ負ハシムルノ故意ニ由テ己カ財産ノ全部若クハ其一部ヲ掠メ或ハ身代限着手前ニ其財産ヲ隱藏シタルキ

第三款 負債者既ニ顯然過大ノ負債ヲ有スルニ際シ若シ他日新債主ノ請求セシキハ之ヲ騙欺セントノ故意ヲ以テ新負債ヲ作りタルキ

第四條 負債者左ノ所行ニ涉リタルキハ詐欺分散ノ未遂犯罪ト同刑ニ處ス可シ

第一款 負債者己ノ財産高ヲ了知シテ之ヲ偽陳シ因テ諸債主若クハ其一名ノ損害ト爲ル和解ノ計

策ヲ施シタルキ又假令其和解ノ計策ヲ其債主ノ承諾セサルキト雖モ亦同シトス

第二款 負債者身代限處分ニ方リ其債主ニ損耗ヲ負ハシムルカ爲メニ財産ノ一部分ヲ賣却シ若クハ他方ニ移シ若クハ偽約ヲ結ヒ若クハ其他ノ不正ナル方法ヲ施シ以テ身代限ニ係ル物品ノ或ル部分ヲ略取シ又ハ略取セント爲シタルキ

(乙) 故意ニテ一名ノ債主ニ損耗ヲ負ハシムルヲ

第九條 財産及ヒ收入物ニ不相應ノ雜費又ハ成不成ヲ徒期シテ現然財産ニ不相當ナル事業又ハ職業ノ

過大ナル怠惰又ハ賭博ニ於テノ損耗又ハ此ト類似ノ方法上ニ因リ不能還償ニ至リ依テ負債ヲ作シ而シテ身代限ニ陥リタル者ハ輕卒ノ身代限トシ四週間以上二年以下ノ禁獄ニ處ス可シ

〇丟靈厄斯的丁

千八百四十九年ノ刑法

第二百四十二條 過剩ノ雜費又ハ營業ノ怠惰又ハ不法ナル家政又ハ財産ニ不相當ノ企ヲ爲シ因テ債主ニ損耗ヲ負ハシメ而シテ裁判上身代限ヲ受ケタル負債者ハ六ヶ月以下ノ禁獄ニ處ス可シ

第二百四十三條 不能還償者又ハ裁判上身代限處分

ヲ受ケタル商人銀行主兌換舖主製造場主又ハ其他ノ商業者ニシテ若シ左ノ所行ニ涉リタルハ八週間以上一年以下ノ禁獄ニ處ス可シ

第一款 不能還償ノ爲メ職業ヲ廢止スルノ前未ノ二年間ニ決算表ヲ爲ラザリシハ

第二款 法律若クハ商業常習ニ從ヒ職業上必須ナル帳簿ノ記載ヲ全ク放棄シ若クハ己ノ財産及ヒ

負債高ヲ認了シ得可ラサル如ク帳簿ヲ不規則ニ

記載シタルハ

第三款 既ニ不能還償ヲ了知セシ時ニ際シ尙ホ借

用物即チ物品ヲ信約上ニテ買取り(信義ヲ表シタルノ義ヲ表シタ

金ヲ拂ハス物品ヲ)又ハ己ノ破産ヲ債主ニ知ラシメ

スシテ其他ノ負債ヲ爲シタルハ

第四款 先ツ特殊ノ負債

(己ノ本業ヲ營ムカ爲メニ借用セシ等ノ特殊ナル恩

借ノ類)ヲ引去リシ後通常ノ負債(細々ナル費用ノ爲メニ借用セシ

モノ)ハ百分ノ五十(即チ金高ノ二分)ヲモ還償ス

ル能ハス或ハ又偶然ニシテ豫知ス可ラサル災難

ニ罹リ因テ不能還償ニ至リシト認了ス可ラサル

カ如キ種類ノ不能還償ナルハ

第二百四十四條

其不能還償ヲ自知シ而シテ其債主

ヨリ既ニ裁判上ニテ請求ヲ受ケ或ハ既ニ裁判上ニ

テ身代限處分ノ着手ヲ受ケシ不能還償者ニシテ若

シ左ノ所行ニ涉リタルハ六年以下ノ工役ノ刑若

クハ徒刑ニ處ス可シ

第一款 債主ヲ掠メテ其財産ヲ己ノ私有ト爲サン

カ爲メニ之ヲ秘包シ

(現存物ヲ偽リ秘シテ無シト謂フノ類)又ハ隱蓄

シ(物体ノ障蔽ニ依テ物品)又ハ他人ノ保有物ト爲

シ又ハ他方へ轉搬スルハ或ハ同般ノ目的ニ依リ

他人ノ名目ヲ以テ金錢ヲ貯藏シ若クハ他人ノ名

目ニテ物品ヲ購求シ若クハ貸金ヲ陰カニ請取ル

キ

第二款 法ニ背キ止々債主ノ一名ニ還償ノ満足ヲ

得セシメ又ハ贈物ヲ爲シ又ハ貸金ヲ許與シ又ハ

借ラサル金ヲ拂ヒ又ハ財産ノ或ル部分ヲ低價ニ

賣却スルキ

第三款 債主ニ損耗ヲ負ハシムルカ爲メニ財産高

ヲ記載スルノ際貸金若クハ負債ヲ虚捏シ若クハ

黙秘シ或ハ又同般ノ目的ニテ出費損失及ヒ不幸

ヲ偽設スルキ

第二百四十五條 若シ商人銀行主兌換舖主製作場主

或ハ其他ノ商業者前條中ノ初項ニ掲載シタル原由

ニ出テ己ノ委托ヲ受ケシ物品金錢若クハ紙幣ヲ自

己ノ費用ニ消盡シ或ハ己ノ商賣帳若クハ其他職業

規則ニ就テ缺ク可ラサル必要ノ紙片ヲ隱藏シ又ハ

滅却シ又ハ偽造シ或ハ商賣帳ヲ遺シ置カス若クハ

紛雜ナル商賣帳ヲ遺シ置テ遁亡シ或ハ己ノ宿所ヲ

隱蔽スル等ノ事ヲ爲シタルキハ一年以下ノ工役場

刑又ハ六年以下ノ徒刑ニ處セララル可シ

若シ右ノ人等和解ニ依リ其債主ニ損耗ヲ負ハシム

ルノ目的ヲ以テ不能還償ヲ偽陳シタルハ前項ト
同刑ニ處ス可シ然レモ此場合ニ在テハ債主ノ訴ヲ
待テ乃チ處分ス可シ

○不拉尼斯襪意厄

分散重罪ニ就テ千八百六
十三年九月十五日議定セ

律シ法

第一條 詐欺分散

凡眞實ナル不能還償若クハ詐偽ナル不能還償ヲ歷
陳セシ負債者其債主ニ損耗ヲ負ハシメンカ爲メ詐
欺ノ所行ヲ企テ殊ニ左ノ所行ニ涉リタルモノ即チ

(イ) 已ノ財産ニ就テ必要ナル帳簿ノ記載ヲ放擲シ
又ハ己ノ宿所ヲ隱蔽シ又ハ商人(商法第四條)タル
者前ニ記載セシ目的ノ爲メニ法律上(商法第二十
八條乃至三十三條)缺ク可ラサル緊要ノ商賣帳及
ヒ抄寫簿ノ記載若クハ家什日録及ヒ輸出入物較
計決算ノ製表且右ノ帳簿及ヒ表又ハ收手セシ商
用書翰ノ保持等ヲ全ク若クハ一部廢棄シ若クハ
律上ノ例式及ヒ其時間中ニ右等ノ專ヲ拋棄シ或
ハ書載セシ帳簿及ヒ書類ノ全部若クハ其幾分ヲ
滅却シ隱藏シ偽造シ若クハ紛雜ノ記載ヲ爲シテ

之ヲ遺シ置キタル者

(ロ) 財産或ハ商品家什若クハ金貨ヲ隱藏シ或ハ他人ノ保有物ト爲シ或ハ他人ノ名ヲ以テ金貨ヲ貯藏シ若クハ物品ヲ買入レ或ハ負債高ヲ増大ニ揚言シ或ハ借ラサル金ヲ還償シ或ハ法ニ背キ止メ債主ノ一名ニ還償ノ満足ヲ得セシメ或ハ貸金ヲ陰カニ請取り或ハ贈物ヲ爲シ或ハ商品若クハ所有物ヲ低價ニ賣却シ或ハ爲替證券若クハ私ニ係ル書入質證書ノ月日ヲ書換へ或ハ詐欺ノ手附金若クハ詐欺ノ紙幣ニ依テ信約上物ヲ掛買スル等

ノ者

右ノ所行ヲ爲セシ者ハ左ノ如ク處決セララル可シ即チ

第一 債主ニ負ハシメタル損金高五百「ターレル」以

上ニ至ルルハ徒刑

第二 債主ニ負ハシメタル損金高三十「ターレル」以

上ニ至ルルハ一年以上ノ苦使ノ刑

第三 其他ノ場合ニ在テハ一年以下ノ苦使ノ刑

(イ) 號中ニ記載セシ場合ニ在テハ債主ニ負ハシメタル損金ノ全額ヲ以テ詐欺ニ依リ得タル金高ト見做

シ而シテ(ロ)號中ニ記載セシ場合ニ在テハ本號中記載セシ所行ノ各個ニ依リ債主ニ負ハシメタル各箇ノ高ヲ以テ詐欺ヨリ得タル金高ト見做ス可シトス
第二條 輕卒分散

凡左ノ所行ニ涉リシ者若シ其所行ニ因テ萌生セシ損害ノ金高五百ターレル以上ニ至リタルハ一年以上ノ禁獄其他ハ一年以下ノ禁獄ニ處刑ス可シ即チ

(イ) 己カ收入ニ不相當ニシテ且活計上需求ニ超過セル冗費或ハ成不成ヲ徒期シ己カ財産ニ不相當

ナル企事ニ依テ債主ニ損耗ヲ負ハシメタル者並ニ不能還償ノ商人(商法第 四條)商賣帳及ヒ抄寫簿ノ記載又ハ家什目錄及ヒ輸出入較計決算ノ製表又ハ此帳簿及ヒ表並ニ領收セシ商用書翰ノ保持等ニ係ル義務(商法第二十八條乃至三十三條)ノ全部又ハ其一部若クハ律ニ例式及ヒ其時間中ニ拋棄シタル者

(ロ) 義務ヲ盡シ得サルヲ既ニ諒知シ又ハ之ヲ諒知シ得可ク又ハ必ス之ヲ諒知ス可キ時ニ方リ財産ノ現狀ヲ熟知セサル人ニ對シ新タニ負債ヲ爲

シタル者

(イ)號中ニ記載セシ場合ニ在テハ債主ニ負ハシメタル損金ノ全額ヲ以テ(ロ)號中ニ記載セシ場合ニ在テハ本號中ニ記載セシ所行ノ各個ニ依リ債主ニ負ハシメタル損金ノ各總計ヲ以テ輕卒ニ因リ加ヘタル損害ナリト見做ス可キモノトス

第三條 己カ職業ノ怠惰又ハ不法ノ家政ニ依テ不能還償ヲ起シタル者ハ其損害高ニ應シテ九ヶ月以下ノ禁獄ニ處ス可シ

○廬卑略 千八百六十三年七月二十日ノ刑法

第二百二十三條 身代限法則ニ照シ詐欺分散ノ罪ヲ犯シタル者ハ一年以上十年以下ノ徒刑ニ處ス可シ
若シ酌量輕減ス可キ情狀アルハ三ヶ月以上五年以下ノ禁獄ニ處ス可シ

第二百二十五條 身代限法則ニ照シ輕卒分散ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以下ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

○昂不爾厄 千八百六十九年四月三日ノ刑法

第三百九十五條 (イ) 詐欺分散

左ノ所行ニ依テ分散ヲ爲シタル者ハ之ヲ詐偽分散ノ罪犯ト爲シ五年以下ノ羈絆ノ刑ニ處ス可シ

第一款 財産ノ或ル部分ヲ他方ヘ移シタル者

第二款 既ニ己ノ不能還償ヲ豫知セシ時ニ方リ左

ノ所行ニ涉リシ者即チ

(イ) 債主ノ損害ト爲ルコトヲ洞知シ而シテ報謝ヲ

全ク受クルコトナク若クハ一目瞭然タル些少ノ

報謝ヲ受ケテ己カ財産ノ或ル部分ヲ他人ニ投

與スル者

(ロ) 債主中ノ一名ヲシテ還償ノ満足ヲ得セシメ

シカ爲メニ金ヲ拂ハサル爲替手形物品及ヒ郵

船運送物ノ送狀又ハ其他ノ金ヲ拂ハサル者ニ

テ渡主尙ホ之ヲ取戻スノ權ヲ有スル所ノ物体

ヲ讓與賣却シ若クハ典當ト爲シタル者

第三款 運送貨物或ハ其他委託ヲ受ケタル物具ニ

シテ賣却ス可キノ權ナキ者ヲ賣却シ又ハ典當ト

爲シタル者

第四款 既ニ身代限處分ノ申渡ヲ受ケシ後其裁決

ヲ遵奉セス又ハ表誠ノ誓(所有ノ物品ニ就テ之ヲ
賦秘セサルノ誓ナリ)

ヲ爲スコトヲ肯セサル者

第五款 己カ財産ノ總額若クハ商業ノ決算ヲ秘包

スルカ爲メニ商賣帳ヲ全ク記載セス或ハ不法ニ記載シ或ハ滅却シ或ハ他方ニ移シタル者

第六款 己ノ財産高ヲ了知シテ之ヲ不正ニ記載シ

或ハ大切ナル事實ヲ包秘シ或ハ己ヨリ頼ミシ和解ヲ肯セサル者

第七款 身代限處分ノ落着前ニ遁走シタル者

右ノ外身代限ニ就テ騙欺取財又ハ前款中ニ記載セシモノヨリ他ノ景狀ニ係ル監守盜並ニ偽造等ノ罪ヲ犯シタル者ハ詐欺身代限ノ罪犯トシテ之ヲ處刑

ス可シ若シ此重罪犯前款中ニ記載セシ刑ヨリモ重キニ處ス可キモノナルハ其最モ重キ刑ヲ以テ之ニ充ツ可シ

第九十六條 輕卒分散

輕卒分散ノ罪犯ト見做ス可キモノハ左ノ所行ヲ爲シ因テ不能還償ニ至リ或ハ其負債高ヲ增大ニ爲シタル者ニシテ之ヲ禁獄ノ刑ニ處ス可シトス即チ

第一款 相當ノ財産ヲ所有スルヲナクシテ成不成チ徒期スルノ企ヲ爲シ或ハ相場ノ賭ヲ爲シ或ハ品物及ヒ證券ヲ取次ノ職業ヲ營ミ因テ巨大ノ損

耗ヲ醸成シ或ハ己カ財産高ノ著明ナル總額ヲ不分明ト爲ス等ノ所業

第二款 資本ヲクシテ兌換ヲ本業ト爲シ不條理ニ金錢ヲ取扱フコト

第三款 奢靡博奕其他ノ浪費等ニ依テ不相應ノ金額ヲ費耗スルコト

右ノ外輕卒分散ト見做ス可キ者ハ左ノ所行ヲ爲シ因テ不能還償ニ至リタル者ニシテ亦禁獄ノ刑ニ處ス可シトス

第四款 前條中第五款ニ記載セシ趣意アルニ非ス

ト雖モ己ノ職業上缺ク可ラサル商賣帳ノ記載ヲ放擲シ又ハ不法ニ記載シ又ハ不満足ノ記載ヲ爲シタル者

第五款 假令商賣上ニ於テ恩謝ス可キ特別ノ情狀アリト雖モ既ニ不能還償ノ場合ニ至リ或ハ既ニ不能還償ヲ了然豫知セシニ方リ敢テ此ニ顧慮セシテ拂金讓渡拂金ノ換償典賣權ノ委付又ハ債主中ノ一名ノミヲシテ還償ノ満足ヲ得セシムル等ノ事ニ依テ財産ノ高ヲ非常ニ減少シタル者

第六款 貸金高ト負債高トヲ對比スレハ其負債ノ

總額ハ貸金ヲ巨大ニ超出シタルヲ洞知シ或ハ
必ス了知ス可ラサル時ト雖モ此ニ關セスシテ尙
ホ商業ヲ營ミタル者

第百九十七條 詐欺和解

延期條約ヲ結ビ以テ己ノ富ヲ計ランカ爲メ己ノ財
産ヲ諒知シテ債主ニ對シ詐欺ノ記載ヲ爲シ或ハ之
ヲ爲サシメタル者ハ詐欺分散ト同般ノ刑ニ處ス可
シ

〇巴威也拉

千八百六十一年
九月十日ノ刑法

第三百二十七條 第三百二十八條及ヒ第三百二十九

條ノ場合ヲ除クノ外過大ノ負債ヲ偽陳シ或ハ眞ニ
過大ノ負債ヲ爲セシ後法ニ背キ己カ財産ノ或ル部
分ヲ隱藏シ又ハ之ヲ債主ヨリ掠略シ又ハ負債高即
チ義務ノ全部若クハ其一部ヲ虛捏シテ之ヲ歷陳シ
又ハ恣慾ヨリ出テ止メ一名ノ債主ニ還償ノ満足ヲ
得セシムル等ノ所行ヲ以テ債主ニ損耗ヲ負ハシメ
タル者ハ一ヶ月以上ノ禁獄ノ刑ニ處シ且同時ニ第
二十八條ニ掲ケタル副刑若クハ其刑ノ一箇ヲ申渡
ス可シ

若シ右損耗ヲ負ハシメタル總計千「ギユルデン」以上ニ至リタルキハ八年以下ノ徒刑ニ處ス可シ

第一項中ニ掲ケタル輕罪ノ未遂罪モ亦刑ニ處ス可シトス

第三百二十八條

商人又ハ製造場主其拂金ヲ淹滯シ

テ左ノ所行ニ涉リタルキハ平常分散ノ罪犯ニ依テ論シ二年以下ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

第一款

己カ職業ノ性質ニ就テ必須ナル帳面ノ記

載ヲ放棄シ若クハ不法ニ記載シ因テ貸借ノ現状

ヲ見知シ得サル如ク爲シタルキ

第二款

己カ職業ノ懈怠并ニ分外ノ冗費又商品若

クハ紙幣公債證書等ヲ以テセル相場ノ賄等ニ依

テ不能還償ニ至リタルキ

第三款

己ノ負債高ハ既ニ貸金高ノ二倍ニ至リタ

ルニ方リ尙ホ金銀ヲ借用シ又ハ品物ヲ買入レ又

ハ新タニ爲換手形ヲ作り又ハ其他商賣ニ属スル

預リ手形ヲ作り又ハ品物若クハ預リ手形ヲ低價

ニ賣却シタルキ

第三百二十九條

商人又ハ製造場主其拂金ヲ爲シ得

サル者ニシテ若シ左ノ所行ニ涉リタルキハ詐欺分

散ノ罪犯ナリトシ十二年以下ノ徒刑ニ處ス可シ

第一款 第三百二十八條中第一款ニ掲ケタル所行

又ハ懈怠ニ依テ故意ヨリ己ノ債主ニ損耗ヲ負ハ

シメタルキ

右ノ外尙ホ四様ノ場合アリ今此ニ略ス原本ノマ、ナリ

○巴敦千八百四十五年三月六日ノ刑法

詐欺ニ依テ其債主ニ損耗ヲ負ハシメタル負債者若シ

左ノ所行ヲ爲スルハ詐欺分散(第四百五十五條)ノ刑ニ處ス可

シ

第一款 財産ノ或ル部分ヲ隱藏シ又ハ之ヲ他方ニ

移シ又ハ之ヲ證書上ニテ賣渡シ又ハ其身ニ取り

顯然重要ナル物具ヲ償ヲ得シテ之ヲ他人ニ與

ヘ又ハ低價ヲ以テ之ヲ賣却スル等

第二款 己ノ財産高ヲ偽陳シ依テ詐偽ノ不能還償

ヲ明言シ或ハ身代限ノ處分ヲ受ケシ後故意ヲ以

テ止タ一名ノ債主ニ還償ノ満足ヲ得セシメ他ノ

債主ニ損害ヲ加ヘ或ハ貸金ヲ黙秘シ又ハ負債ヲ

虚捏シテ歴陳スル等

第四百六十六條 非常ノ冗費不法ノ家政職業ヲ懈怠

或ハ成不成ヲ徒期スル等ノ現然己ノ財産ニ不相應
ノ金ヲ爲シ以テ債主ニ損耗ヲ負ハシメタル負債者
若シ身代限ノ着手後其債主ニ負ハシメタル損耗ヲ
曾テ其所行ヲ爲スノ際既ニ了然洞知シ得タルキハ
六ヶ月以下ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

第四百六十七條 不能還償ニ至リタル商人ハ左ノ如
ク處決セララル可シ

第一款 輕卒ノ不能還償(商法第二百五十葉及ヒ第
二百五十一葉)ニ就テハ二年以下ノ郡區禁獄若ク
ハ正役ノ刑

第二款 詐欺ノ不能還償(商法第六十九葉第二百八
十七葉及ヒ第二百五十八葉)ニ就テハ一年以上五
年以下ノ徒刑但シ其輕犯ノ場合ニ在テハ二年以
下ノ工役ノ刑

○不來梅 千八百六十
八年ノ草案

第四百十八條 己ノ財産ニ就テ分散ノ處分ヲ受ケタ
ル負債者左ノ所行ニ涉リタルキハ平常分散ノ罪犯
ト爲シ一年以下ノ禁獄ニ處ス可シ

第一款 己ノ財産ヨリ遙カニ超過シタル徒費ヲ浪

用シ或ハ己ノ職務執行或ハ其財産ノ支配ニ關シ
至大ノ懈怠若クハ至大ナル輕卒ヲ爲スノ罪ヲ犯
シタルハ

第二款 己ノ倒産ヲ預知シ若クハ必ス了知セサル
可ラサルノ場合ニ際スト雖モ此ニ關セスシテ全
ク成不成ヲ徒期シ或ハ止々瞬間ニ金銀ヲ儲得ン
カ爲メニ企圖セシ所業ニ依テ救急ノ方ヲ咄嗟ニ
求メタルハ

第三款 負債者若シ商業並ニ製造所ノ職業又ハ之
ト類似ノ職業ヲ爲ス者ニ屬スルハ左ノ所行ニ涉

リタルハ

(イ) 己ノ職業執行ニ就テ缺ク可ラサル帳簿ノ記
載ヲ爲サ、ルハ

(ロ) 負債者己ノ財産ヲ各個ニ配分スルニ當リ債
主ハ其請求高ノ四分一ヲモ落手シ得サル可キ
コトヲ己ニ業ニ洞察シ若クハ必ス洞察セサル可
ラサルノハ至リ尙ホ不能還償ノコトヲ裁判所
ニ啓告セス

(ハ) 不能還償ノ後速カニ分散ノコトヲ裁判所ニ啓
告セス

總テ如此ノ場合ニ在テハ禁獄ノ刑ニ併セテ公務權用ノ禁ヲ申渡サル可シ

第四百四十九條 己ノ財産ニ就テ分散ノ處分ヲ受ケシ負債者左ノ所行ヲ爲スニ涉リタルキハ第四百五十條ニ照シ詐欺分散ノ犯罪ニ依テ處決ス可シトス

第一款 負債者己カ財産ノ全部若クハ其一部ヲ隱藏シ或ハ他方ニ移シ置キタルキ

第二款 負債者裁判官或ハ管財人ニ對シ全部若クハ其一部ヲ虛捏シタル負債即チ義務ヲ偽陳シタルキ

第三款 負債者若シ商業製造所ノ職業又ハ之ト類似ノ職業ヲ爲ス者ニ属スルト確定シ而シテ該者其債主ニ損耗ヲ負ハシムルノ故意ニ出テ己ノ職業執行ニ必須ナル帳面ノ記載ヲ全ク放棄シ或ハ其帳面ヲ滅却シ若クハ隱藏シ或ハ其帳面ヲ以テ己ノ財産高ヲ確認シ得可ラサル如ク記載シ若クハ變易シタルキ

第四百五十條 詐欺分散ハ六ヶ月以上ノ禁獄ノ刑ニ處シ併セテ賦稅自由及ヒ商賣自由ノ權ヲ禁止シ或ハ其權ノ一部ノ禁止ヲ申渡ス可シ

其罪ノ輕キ場合ニ在テハ右ノ副刑ヲ除テ四週間以上一年以下ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ
若シ詐欺分散ニ依テ巨大ノ財産損害ヲ醸成シタル
ハ十四年以下ノ徒刑ニ處シ其輕キ場合ニ在テハ
一年以上ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

○墾地利

千八百六十七年ノ草案

第二百七十七條 己ノ財産ニ就テ身代限ノ處分ヲ受ケシ負債者若シ左ノ所行ニ涉リタルハ詐欺分散ノ重罪犯ナリトス

第一款 故意身代限ノ着手ト同時ニ詐欺ノ所行ヲ爲シタルハ

第二款 己ノ債主ニ損耗ヲ負ハシムルノ故意ニ出テ己ニ過大ナル負債ノ崇積セシヲ諒知シタルノ時ニ方リ左ノ所行ニ涉ルハ

(イ) 己カ財産ノ或ル部分ヲ隱藏シ或ハ他方ニ移シ或ハ格外ニ過剩ノ拂金ヲ爲シ或ハ他人ノ名目ヲ以テ物品ヲ購求シ或ハ其他ノ贏利ヲ營ミ或ハ己カ財産ノ或ル部分ヲ賠酬ナシニ贈物ト爲シ或ハ何レノ名義タルヲ論セス他人ニ讓リ

渡シ若クハ實ニ贖ヲ取リタルニ格外ニ不相當
ノ低價ヲ以テ他人ニ賣渡シ或ハ貸金ノ請求ヲ
投棄シ或ハ拂フ可キ義務ナキ金ヲ拂フキ

(四) 拂金ヲ爲シ或ハ典物ノ權又ハ證書ノ權ヲ讓
リ渡シ或ハ通常請求ノ權ヲ特別ノ權ニ變易シ
或ハ其他何レノ方法ヲ論セス法ニ背キ債主中
ノ一名ニシテ拂ヒヲ爲シ之ヲ満足セシムルキ

(ハ) 貸借ノ現状ヲ无妄ニ陳述シ或ハ偽陳シ殊ニ
現在ノ貸金ヲ黙秘シ或ハ一般ニ己ノ不能還償
ヲ虚捏シ又ハ秘包シ或ハ單ニ負債ヲ虚捏シ又

ハ秘包シ或ハ何レノ方法ヲ論セス右等ノ所行
ニ依テ眞ニ現存セル財産總額ノ減省ヲ爲スルキ

(ニ) 負債者商賣帳記載ノ義務ヲ有シ而シテ或ハ
其帳面ヲ全ク記載セス或ハ其全部若クハ一部
ヲ不法ニ記載シ或ハ其帳面ニ依テ商賣執行ノ
經歷及ヒ財産高ヲ認了シ得可ラサル如クニ記
載シ或ハ其帳面若クハ其他ノ證書類ヲ偽造シ
隱藏シ滅却シ及ヒ他方へ移シタルキ

第二百八十三條 己ノ財産ニ就キ身代限ノ處分ヲ受
ケタル負債者若シ左ノ所行ヲ爲シタルキハ怠惰分

散ノ罪犯ナリトス

(イ) 過度ノ雜費營業ノ怠惰不法ノ家政成不成ヲ徒期シタル撮空ノ職業或ハ其他己ノ財産ニ不相當ナル企或ハ非常ニ崇積シタル負債等ニ由テ不能還償ヲ致シ又ハ不能還償ヲシテ益々増大ナラシメタルキ

(ロ) 債主ニ損耗ヲ負ハシムルノ故意ヲクシテ第二百七十七條中(ハ)號ニ掲ケタル所行ノ罪ヲ犯シタルキ

○ 丟列支 千八百六十六年ノ草案

第九十六條 眞ニ不能還償ニ至リタル者或ハ詐欺ヲ以テ不能還償ヲ偽陳セシ者若シ左ノ所業ヲ爲スニ涉リシキハ詐欺分散ノ罪犯ナリトス

(イ) 該者己ノ財産ノ全部若クハ一部ヲ隱藏シ或ハ他方ニ移シタルキ

(ロ) 該者全部若クハ一部ヲ虛捏シタル負債ヲ偽陳シ或ハ詐僞ノ職業若クハ詐僞ノ條約ニ因テ債主ニ損耗ヲ負ハシメタルキ

(ハ) 該者計算簿又ハ商賣帳ノ全部若クハ一部ヲ隱

藏シ或ハ他方ニ移シ或ハ偽造シ或ハ偽テ其帳ニ記載セシキ

(ニ) 該者己ノ債主ニ損耗ヲ負ハシムルノ故意ニ由テ己カ職業ノ爲メニ必須ナル商賣帳ノ記載ヲ爲サス或ハ其帳面ニ就テ財産高ヲ毫モ認了シ得可ラサル如クニ記載シタルキ

第百九十七條 詐欺分散ノ刑ハ工役ノ刑トス

但シ其輕キ場合ニ在テハ底タ禁獄ノ刑ニ處スルヲ得可シ

第百九十八條 己ノ拂金ヲ淹滞シ或ハ不能還償ニ至

リタル者若シ左ノ所業ニ涉リシキハ輕卒分散ノ罪犯ナリトス

(イ) 該者詐欺ノ趣意ナク己ノ職業ニ就テ必須ナル帳面ノ記載ヲ放擲シ或ハ其帳面ヲ以テ貸借ノ現狀ヲ認了シ得可ラサル如クニ記載シタルキ

(ロ) 該者己ノ財産高ニ超過シタル雜費ヲ浪用シ或ハ輕卒ニ事業ヲ企テシキ或ハ該者己ノ分散ヲ預知シ又ハ必ス之ヲ了知ス可ラサルノ場合ナルニ方リ此ニ關セスシテ品物又ハ證券切手ヲ賤賣シ或ハ金銀ヲ借用シ若クハ品物ヲ買入レ因テ過大

ノ負債ヲ爲シタルキ

第四百二十九條 輕卒分散ノ罪犯ハ禁獄ノ刑ニ處ス可

シ

○印度

第四百二十一條 法ニ從テ我カ債主又ハ他人ノ債主

ノ之ヲ分取スルヲ妨クルヲ圖リ或ハ之ヲ妨クルニ

至ル可キヲ知テ不正ニ或ハ詐欺ノ心ヲ以テ財物ヲ

移シ之ヲ隱シ或ハ故ナク之ヲ人ニ讓リ或ハ讓ラシ

ムル者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ

又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第四百二十二條 不正ニ或ハ詐欺ノ心ヲ以テ自己又

ハ他人ノ償フ可キ負債又ハ要求ノ法ニ依リテ負債

返償ニ付テ利セラル、ヲ妨クル者ハ二年ニ止ル各

種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シ

テ之ヲ罰ス可シ

第四百二十三條 不正ニ或ハ詐欺ノ心ヲ以テ財物又

ハ利息ヲ讓與シ或ハ之ヲ管監ニ委ス可キヲ指示シ

而シテ之ヲ讓與シ又之ヲ管監スルノ賠代或ハ其契

書ヲ利用ス可キ人ニ係ハリ偽陳ヲ述ル所ノ契書ニ

手署シ或ハ捺印スル者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第四百二十四條 不正ニ或ハ詐偽ノ心ヲ以テ自己又ハ他人ノ財産ヲ隱匿轉移シ或ハ不正或ハ詐偽ノ心ヲ以テ之ニ助力シ或ハ不正ニ我ニ權アルノ要求ヲ縱ス者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ贖金入獄ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

○魯西亞

第千百六十三條 商人ニテ惡謀ノ倒産ヲ爲スヲ證徴セラル、者ハ族權全部ノ剝奪及ヒ西比利謫所ノ放流ニ處セララル

第千百六十四條 詐偽ノ惡謀アル倒産人ニ與ミシタル者ハ犯罪ノ同謀人ニ就キ此刑法第百十九條ニ定メタル通規ニ依テ罰ニ處セララル
又銀行ニ成立テタル資金ヲ惡謀アル倒産人ヨリ讓受ケテ其資金ヲ諸々ノ貸主ニ出サ、ル惡謀アル倒産者ノ相續人モ同上ノ罰ニ處セララル可シ

第千百六十五條 商族ノ人ニテ不戒慎アル倒産人ナ

リト認知セララル、者ハ商權ヲ剝奪セラレ及ヒ貸主ノ要求及ヒ見込ニ依テ八箇月ヨリ少カラス一年四箇月ヨリ多カラサル時間ノ禁獄ニ處セララル

第一千百六十六條 商族ニ屬セサル人ニテ惡謀アル借主ト認知セララル、者即チ負債ノ拂ヒヲ免レンカ爲メ故ラニ拂フコ能ハサルノ負債ニ陥リテ更ニ己カ財産ヲ鞏固ニシ或ハ其財産ヲ報ヲ望ムコナク他人ノ手ニ交付シ又ハ假偽ノ貸主ヲ設ケ或ハ其他ノ方法ヲ以テ己カ真正ノ財産或ハ其一部分ヲ隱藏シテ以テ貸主ニ損害ヲ蒙ラシメタルノ證アル者ハ身体

及ヒ族位ニ屬シタル特權全部ノ剝奪及ヒ此刑法第三十一條ノ第四等ニ依テ懲囚隊内ノ編入ニ處セララル

第一千百六十七條 詐偽ノ惡謀アル借主ニ與ミシタル者ハ犯罪ノ同謀人ニ就キ此刑法第一百十九條ニ定メタル通規ニ依テ罰ニ處セララル

又銀行ニ成立ケタル資金ヲ惡謀アル借主ヨリ讓受ケテ以テ其資金ヲ故ラニ返濟ノ爲メニ出サ、ル惡謀アル借主ノ相續人モ亦斯ノ如ク罰セララル可シ

第一千百六十八條 官或ハ私ノ借主ニシテ己ヨリ貸主

或ハ官署ニ出シタル銀行紙券或ハ私會社ノ入金證
 書ニ讓渡ノ裏書ヲ爲ス可キノ義務ヲナサズ或ハ消
 債所ノ紙券ヲ顯ハス時其消債所ニ緊要ノ報告ヲ爲
 ス可キノ義務ヲナサル者若シ商族ニ屬スルキハ
 惡謀アル倒産ニ就キ前文第千百六十三條ニ確定シ
 タル罰ニ處セララル
 而シテ若シ其者商族ニ屬セサルキハ惡謀アル倒産
 ニ就キ此前文第千百六十六條ニ定メタル罰ニ處セ
 ラル

(注目)千八百六十八年間此千百六十八條ニ在ル規則

ハ千八百六十四年十一月二十日ノ民事裁判法ニ原
 キテ處分セララル可キ借主ニ實施セラレサルナリ

第六十七 贓物ヲ藏匿スル等ノ罪

○佛蘭西

第六十二條 重罪及ヒ輕罪ヲ犯シテ盜奪竊取シタル品物ノ全部又ハ一部ヲ故ヲニ隱匿シタル者ハ其重罪及ヒ輕罪ノ附從トシテ罰ス可シ

第六十三條 然レモ重罪ノ首謀ヲ死刑ニ處ス可キ時

ハ其贓物ヲ隱匿セシ者ヲ無期ノ徒刑ニ處ス可シ
何レノ場合ニ於テモ贓物ヲ隱匿セシ者其事ヲ爲セシ時ニ當リ犯罪ノ首謀ノ死刑又ハ無期ノ徒刑又ハ流刑ニ處セラル可キ模様アルヲ知リタル證據ノ分

明ナル時ニ非サレハ其隱匿者ヲ無期ノ徒刑又ハ流刑ニ處ス可ラス若シ然ラザレハ之ヲ有期ノ徒刑ニ處ス可シ

第三百八十條 夫ノ其婦ノ物ヲ盜ミ或ハ婦ノ夫ノ物ヲ盜ミ又ハ鰥夫或ハ寡婦其死去シタル配偶者ノ物ヲ盜ミ又ハ子及ヒ卑屬ノ親其父母及ヒ尊屬ノ親ノ物ヲ盜ミ或ハ父母及ヒ尊屬ノ親其子及ヒ卑屬ノ親ノ物ヲ盜ミ又ハ同上ノ級ノ姻屬ノ親互ニ相盜ム時ハ損失ノ償ヲ爲ス可キノミトス
其他ノ者其贓物ノ全部又ハ一部ヲ隱藏シ又ハ己レ

ノ利益ト爲シタル時ハ盜罪ノ刑ニ處セラル可シ

○獨逸

第二百五十七條 重罪輕罪ヲ犯シタル後其事ヲ知テ故ラニ裁判ヲ逃レシメ又ハ重罪又輕罪ヨリ得タル物件ヲ其犯人ノ利益ト成サシメントスル爲メ其首從ニ補助シタル者ハ重罪輕罪ニ付事後附從トナシ二百「ターレル」ニ至ル罰金又ハ一年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ若シ己レノ利益ヲ爲サントスル爲メ補助シタル者ハ禁獄ニ處ス然レモ其刑ノ種類又ハ其

刑期ニ於テモ正犯ヲ處スル刑ヨリ重カル可ラス
 若シ重罪輕罪ノ首又ハ其附從近親ニテ其近親ヲシ
 テ裁判ヲ逃レシメントスルノ目的ニテ補助シタル
 時ハ其事後ノ附從ハ罪ナシトス
 若シ事後附從重罪輕罪ヲ犯ス以前補助ヲ爲ス可ク
 ト約シタル時ハ補助ノ附從トナシ處ス可シ近親ノ
 者ニモ亦此條ヲ通シテ用フ可シ

第二百五十八條 事後ノ附從ハ自己ノ利益ヲ得ン爲
 メニ補助シタル時ハ窩主トナシ左ノ件々ニ循ヒ處
 ス可シ

第一項 其補助シタル重罪輕罪ノ犯首竊盜又騙取
 ノ罪ヲ犯シタル時ハ禁獄ニ處ス可シ

第二項 其補助シタル重罪輕罪ノ首重盜重盜トハ強盜強盜ニ非

ハ竊盜以上ノモノヲ云フ譬ヘハ及ヒ強盜又ハ強盜ハ夜間人家ニ入り盜ヲ爲ス類

ト同シク論ス可キ重罪ヲ犯シタル時ハ五年ヨリ
 長カラサル徒刑ニ處ス可シ

若シ酌量輕減アリト雖モ三月ノ禁獄ヨリ減ス可ラ
 ス窩主其重輕罪犯ノ首ノ近親タルキモ此條ヲ通シ
 テ用フ可シ

第二百五十九條 犯罪ニヨリ得タル物件ト其情狀ニ

循て知ルヲ得可キ又ハ之レト思料ス可キ物件ヲ自
己ノ利益ノ爲メニ隱藏シ又之レヲ典物トシテ請取
リ又其他ノ方法ヲ以テ之レヲ得タル者又ハ其物件
ノ讓渡ニ用意シタル者ハ窩主ノ罪トナシ禁獄ニ處
ス可シ

第二百六十條 窩主ヲ業トシ又ハ平生之レヲ隱藏ス
ル者ハ皆十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處ス可シ

○白耳義

第五百五條 凡重輕罪ヲ犯シテ強奪若クハ私利セル

物品ノ全數又ハ數奇ヲ藏匿スル者ハ十五日ヨリ五
年迄ノ獄ニ處シ二十六「フ」ラシク「ヨリ」五百「フ」ラシク「レ」
迄ノ罰金ヲ命ス可シ

此等ノ犯人ハ尙ホ第三十三條ノ奪權ニ處シ且二年
ヨリ五年迄ノ警察ヲ受ケシムル「フ」アリ

第五百六條 凡本犯死刑若クハ終身懲役ニ該レハ情
ヲ知リ其贓物ヲ藏匿スル者ハ監役ニ處ス可シ

○埃及

第七十四條 未項

贓物タルヲ知テ之ヲ隱匿セシ者

此等ノ者ハ輕重罪ノ同謀者ナリト看做ス可シ

第二百七十六條 夫婦ノ同居スルト否トヲ問ハス夫

其婦ノ物ヲ盜ミ或ハ婦其夫ノ物ヲ盜ミ又ハ子及ヒ

卑屬ノ親其父母及ヒ尊屬ノ親ノ物ヲ盜ミ或ハ父母

及ヒ尊屬ノ親其子及ヒ卑屬ノ親ノ物ヲ盜ミシ時ハ

其損失ノ償ヲ爲ス可キノミトス

前ニ記シタル景狀ニ於テ其盜罪ヲ助ケタル者又ハ

其贓物ノ全部或ハ一部ヲ隱匿シ或ハ己ノ利益ト爲

シタル者ハ盜罪ヲ犯シタルト爲シ其刑ニ處セラレ

可シ

○英吉利

凡重罪ニ該ル盜賊ナルヲ知テ受ル者ハ重罪ノ後從

ト爲シ首盜未タ捕獲セスト雖モ五年ヨリ十四年ニ

止ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサレ入獄ニ處シ若

クハ苦役及ヒ隘牢ヲ加フ如シ年十六以下ノ者犯セ

ハ判事ノ適意ニ依テ且打背罪ヲ加フ

若シ贓輕罪ニ該ル者ハ其贓ヲ受ル者モ亦輕罪ニ坐

シ七年ニ止ル徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處斷ス其法上

ニ同シ

○墾地利千八百五十二年五月廿七日布告

第百八十五條 竊盜物若クハ監守盜物ヲ陰匿受收若

クハ賣却スル者ハ竊盜或ハ監守盜共犯ノ罪トス

第百八十六條

(甲) 共犯者竊盜物若クハ監守盜物ノ價額及ヒ其犯

爲ノ形狀ニ依テ該竊盜若クハ監守盜ノ所業タル

ヤ重罪ニ係ル可キヲ熟知セル中或ハ

(乙) 凡竊盜若クハ監守盜物ヲ數回隱匿シ或ハ受收

シ又ハ賣却セル中其竊盜物ニ在テハ價額ヲ合計

シテ二十五「グルデン」其監守盜物ニ在テハ五十「グ

ルデン」以上ニ及フ中該共犯ハ六月以上一年以

下ノ重徒刑ニ處セラル可シ但シ其價額及ヒ計略

并ニ其犯爲ノ致セル損害ノ甚シキニ從ヒ或ハ五

年ノ期ニ及フコアル可シ

第百九十六條 某物品ノ蓋シ強盜物ニ係ルヲ知リナ

カラ(假令其價額僅些ノ物ト雖モ)之ヲ陰匿シ若クハ

賣却或ハ收領スル者ハ強盜共犯ノ重罪トシ一年以

上五年以下ノ重徒ニ處ス可シ

○印度

第四百十條 竊盜強盜恐喝取財私擅用財物背信任ノ
罪ヲ經タルノ財物之ヲ盜賊ト云フ但シ如此財物法
ニ於テ之ヲ所有スル權アル人ノ所有トナルニ及テ
即チ盜賊ノ名ヲ免ル

第四百十一條 其盜賊タルヲ知テ又ハ之ヲ信スルノ
理由ヲ有シ不正ニ盜賊ヲ取受保持スル者ハ三年ニ
止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ
兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第四百十二條 其群盜罪ヲ經タルヲ知テ又ハ之ヲ信
スルノ理由ヲ有シテ盜賊ヲ取受保持シ或ハ現在群
盜ニ屬シ又ハ嘗テ群盜ニ屬シタリト知リ又ハ信ス
ル所ノ人ヨリ其盜賊タルヲ知テ又ハ之ヲ信スルノ
理由ヲ有シ盜賊ヲ取受保持スル者ハ終身流若クハ
十年ニ止ル加苦役入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第四百十三條 盜賊ト信シ又ハ知ル所ノ財物ヲ常ニ
取受シ又ハ取扱フ者ハ終身流若クハ十年ニ止ル各
種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第四百十四條 故ヲニ盜賊ト知リ又ハ信スル所ノ財

物ヲ隱匿シ又ハ之ヲ賣與スルヲ助クル者ハ三年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

○加利堡爾尼

第四百九十六條 自己ノ利潤ヲ計リ若クハ本主ノ其動産ヲ復有スルヲ妨碍センカ爲メニ其盜賊ニ係ルヲ知リナカラ之ヲ買取收受スル者ハ五年以下ノ禁固若クハ六月以下ノ禁固ヲ科シ或ハ右二刑ヲ併科ス

第四百九十七條 他州若クハ外國ニ於テ人ノ資産ヲ偷取シ若クハ其盜賊ニ係ルヲ知リナカラ之ヲ收受シテ爾後本州ニ携歸スル者ハ本州ニ於テ偷取收受セル者ト同ク決罪懲治ス

○普魯士千八百五十一年四月十四日ノ刑法

第二百三十七條 自己ノ利益ノ爲メ或ハ然ラサルモ竊盜監守盜若クハ其他ノ重罪輕罪ヲ犯シ因テ得タル物品ナルヲ了知シテ之ヲ隱藏シ購求シ典當ニ取リ又ハ其他ノ施爲ヲ以テ己ノ所有ト爲シ或ハ他

人ニ販賣スルノ援介ヲ爲ス者并ニ重罪又ハ輕罪タルヲ了知セルモノニ就キ自己ノ利益ヲ計ルカ爲メニ竊盜監守盜若クハ此ニ類セル重罪輕罪ヲ犯セシ人ヲ救助スル者ハ一個月以上ノ禁獄ニ處シ且有期ノ民權剝奪ヲ申渡ス可シ又此犯者ヲシテ同時ニ警察監察ヲ受ケシム可シ

酌量輕減ス可キ情狀ノ判然セシキハ之ヲ減シテ一週間以下ノ禁獄ノ刑ニ處スルヲ得可シ

第二百三十八條及ヒ第二百四十條此兩條ハ私和盜賊ニ於ル刑ノ加重ノ原因ヲ記ス(原本ノマ)

○薩克索千八百六十八年十一月一日改正ノ刑法

第二百九十二條 凡此篇中(竊盜脅迫營利詐欺監守盜遺失物監守盜)及ヒ第百七十七條中(強盜)及ヒ第百七十八條中(強盜樣ノ脅迫營利)ニ揭示セシ重罪或ハ同時ニ右罪犯ノ一箇ヲ含有セル軍律上ノ重罪(軍律書ノ第四及ヒ第五卷中第一章ヲ比較ス可シ)ニ依テ得タル物品ニ就キ其不正ナルモノナルヲ了知シ或ハ其物品ノ正否ヲ考量セサル可ラサル情狀中ニ於テ贈遺購求若クハ其他ノ方法ヲ以テ右ノ物品ヲ已

ノ所有ト爲ス者ハ私和盜賊ノ罪犯ナリトシ四箇月以下ノ禁獄又ハ二年以下ノ工役刑ニ處ス可シ
 盜賊ハ呈訴ヲ待テ處決ス可キ犯罪ニ依テ得シモノニシテ其私和盜賊ノ犯者之ヲ已ノ所有ト爲スニ當リ其犯罪ニ依テ得シモノナルヲ了知セシニ於テハ呈訴ヲ待テ乃チ其罪ヲ處決ス可シ
 家婦及ヒ子女タル者（選舉父母ノ養育ヲ受ク可キ年者ヲ包含ス）若シ不法ニ依テ得タル物品若クハ此物品ヨリ得タル代價ニ賴テ其家父或ハ父母ヨリ資給ヲ受ケタルルハ之ヲ私和盜賊ノ罪犯ト見做ス可ク

ス

第二百九十三條 凡竊盜強盜及ヒ詐欺取財者ノ窩主

タルヲ以テ務ト爲シ或ハ竊盜強盜或ハ其他ノ重罪ニ依テ得タル物品ヲ輸收シ又ハ蓄藏スル爲メニ右ノ犯者ニ場所ヲ貸與スルヲ以テ務ト爲ス者或ハ盜賊ヲ私和シ又ハ販賣スルヲ以テ營業ト爲ス者ハ六年以下ノ工役ノ刑若クハ徒刑ニ處ス可シ

○ 挨塞 千八百四十一年九月十七日ノ刑法

千八百四十一年九月十七日ノ刑法書ハ私和盜賊ノ罪

犯ニ就テ特ニ條例ヲ設ケス概テ事後加功ノ罪ニ於
ルノ條例ヲ擬決スルモノトス

○丟靈厄斯的丁千八百四十九年ノ刑法

第二百三十一條 竊盜者又ハ強盜者タルヲ知テ其
窩主ト爲リ或ハ竊盜又ハ強盜ノ罪犯ニ依テ得タル
所ノ物品ヲ販賣スルヲ以テ職業ト爲ス者ハ六年以
下ノ工役ノ刑若クハ徒刑ニ處ス可シ

○不拉尼斯襪意厄千八百四十年七月十日ノ刑法

千八百四十年七月十日ノ刑法書ハ私和盜賊ノ罪犯ニ
就テ特ニ條例ヲ設ケス止テ事後加功ノ罪ニ係リタ
ル一般ノ制定ニ照準シテ處決ス可キモノトス

○巴威也拉千八百六十一年十一月十日ノ刑法

第三百八條 物品ノ強盜竊盜或ハ監守盜ニ依テ得タ
ルモノナルヲ知シテ之ヲ賈得シ貿易シ抵當ニ
取リ或ハ其他ノ施爲ヲ以テ己ノ所有ト爲ス者并ニ
強盜竊盜或ハ監守盜ノ罪ヲ犯セシ人ナルヲ知
シ而シテ此罪犯ニ關シ己ノ利益ヲ得ンカ爲メニ此

人ヲ保庇スル者ハ私和盜ノ罪犯ナリトス

○瓦爾敦巴爾厄千八百三十九年三月一日ノ刑法

第三百四十三條 貪欲ノ目的ニ於テ竊盜者ニ投宿ナ
許ン或ハ竊盜セシ物品タルヲ了知シテ之ヲ受寄
シ若クハ隱藏シ若クハ己ノ固有ト爲シ若クハ他人
ニ販賣スルノ援介ヲ爲ス者ハ私和盜賊ノ罪犯ト爲
シ禁獄ノ刑ヲ以テ處シ且民權剝奪及ヒ職業權剝奪
ノ刑ヲ併科ス可シ

此禁獄ノ刑ハ犯者ヲ保庇セシ者ノ罪ノ輕重ニ從ヒ

及ヒ加功ヲ受ケシ竊盜罪ノ刑ノ輕重ニ準シ處決ス
可シ

盜者ヲ保庇スルヲ以テ職業ト爲ス者ハ第五十一條
ニ照準シ工役ノ刑ニ處ス可シ

第九十一條 職業トシテ事後加功ノ重罪ヲ犯セシ者
若シ惡業交際ノ爲メニセシニ於テハ公權又ハ營業
權ノ有期或ハ無期剝奪ノ外工役ノ刑ヲ併科ス可シ

警察上ノ刑法

第六十三條 竊盜或ハ監守盜ナルヲハ確然了知ス可
ラスト雖モ販賣者ニ對シ其物品ヲ不法ニ得有セシ

「テ」ヲ必ス推考セサル可ラサルノ情狀アルノ際ニ在
テハ其物品ヲ己ノ所有ト爲ス者ハ五十「ギユルデン」
以下ノ罰金ヲ科シ而シテ較ヤ重キ情狀アルモノ或
ハ再犯ニ就テハ六週間以下ノ禁錮ノ刑ニ處ス可シ

○魯西亞 千八百六十六年五月五日魯國皇

帝ノ勅令ニ依テ新タニ版行シタル刑事
及ヒ懲治罪ノ律書

第一千百六十六條 竊盜或ハ其未遂犯罪ニ就テ加功ヲ
爲ス者并ニ其障得ヲ爲ス可キ「」ヲ怠リシ犯者及ヒ

竊盜者ヲ掩匿シ或ハ竊取セシ物品ヲ隱藏スル者ハ

左ノ刑ニ處ス可シ

重罪ノ從犯ニ就テ此刑法書中某條例ニ論セシ制定
ノ本旨ニ基キ處決スルモノトス

第二百二十四條 盜贓ヲ隱藏セシ者若シ重罪ノ所行ヲ

犯スニ當リ加功ヲ要セスシテ之ヲ爲シ得可キ罪犯

(第一百條)ニ就キ加功セシニ於テハ事後加功ノ重罪ノ

刑ヲ擬決ス可シト雖モ其一等ヲ減ス可シ

○不來梅 千八百六十六年ノ草案

第四百九條 (事後加功ノ罪) 己カ利益ノ爲メニスルモノ 凡強盜若クハ強盜ニ比シキ脅迫營利或ハ竊盜若クハ竊盜ニ同シキ監守盜ノ犯者該罪ヲ遂成シタル後之ニ因テ己ノ利益ヲ謀ランカ爲メ其主犯又ハ其從犯ニ加功ヲ爲シ以テ其犯者ヲ營利ノ要具ト爲ス者ハ之ヲ私和盜賊ノ罪犯ニ依テ論シ本罪ニ擬ス可キ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

第八十三條 (事後加功ノ罪) 己カ利益ノ爲メニ非スルモノ 重罪ヲ犯セシ後此罪犯ノ所行ヲ爲スニ同盟一致セシマナクシテ其主犯又ハ從犯タルヲ知リナカラ

該者ヲシテ刑ヲ免レシメンカ爲メ或ハ犯者ヲシテ其犯罪ニ因テ得タル利益ヲ確乎ト保有セシメシカ爲メニ之ヲ救助シタル者ハ之ヲ事後加功ト見做シ他ニ特定ノ成規アラサレハ本罪ニ擬ス可キ禁獄ノ刑ニ處ス可シ

第四百十條及ヒ第四百十三條 此兩條ハ私和盜賊ニ就テ特別ナル處刑ノ原因ヲ記ス

第四百十四條 (私和盜賊)

重罪犯ニ依テ得タル物品ナルコヲ了知シ或ハ其事ヲ必ス捜究セサル可ラサル情狀アルニ方リ之ヲ隱

藏シ買得シ抵當ニ取り若クハ其他ノ施爲ヲ以テ之
ヲ己ノ固有ト爲シ或ハ他人ニ販賣スルノ援介ヲ爲
ス者ハ私和盜賊ニ依テ論シ禁獄ノ刑ニ處シ或ハ一
百「ターレル」以下ノ罰金ヲ科ス可シ

第四百十五條及ヒ第四百十七條 此兩條中ニハ私和

盜賊ノ輕重罪ノ刑ニ就テノ條例ヲ設ク(原本ノマ、ナリ)

第四百十八條 家婦并ニ子女又ハ教育ヲ受ク可キ年
少者ハ假令不正ニ依テ得タル物品或ハ其物品ヲ賣
却シテ得タル所ノ金ナルヲ了知シ此ヲ以テ其家
夫並ニ其兩親又ハ其教育父母ヨリ日常ノ資給(衣食)

ヲ受ケタルモ私和盜賊ノ罪犯トセス

○丟列支千六百六十年ノ草案

第一百八十一條 己カ利益ノ爲メニ強盜或ハ其他之ニ

比シキ重罪又ハ輕罪ニ依テ得タル物品ナルヲ了
知シテ之ヲ買得シ抵當ニ取り若クハ隱藏スル者并
ニ強盜竊盜又ハ監守盜ノ罪ヲ犯セシ人ナルヲ了
知シテ其人ヲ救助スル者ハ私和盜賊ノ罪犯ニ依テ
處決ス可シ

○魯西亞

第一千六百六十一條 竊盜或ハ其犯圖ニ與ミセシ者並

ニ其犯者或ハ贓物ノ傍看人及ヒ隱匿人ハ犯黨ニ就

キ此刑法第百十七條ヨリ第百二十八條ニ定メタル

規則ニ原キテ罰ニ處セラル(上卷第十六正犯從犯ノ部ヲ見ル可シ)

第一千七百一條 竊取シタル又ハ暴行或ハ詐欺ヲ以テ

受領シタル財産ナルヲ知テ之ヲ販賣スルニ就キ其

罪人ハ左ノ罰ニ處セラル但シ他ノ者カ竊取ヲ爲シ

テ已レ只之ヲ知リタルノミノキニハ財産ヲ受領ス

ル犯罪ノ助謀人ノ如ク罰ニ處セラル而シテ其竊取

シタル財産ヲ購買セシ者ニ已レカ蒙ラシメタル諸

損失ヲ返償セサル可ラス

若シ又或者ニ販賣シタル財産ハ販賣人竊取或ハ詐

偽ヲ以テ受領シタルルキハ此刑法第百五十二條ニ定

メタル合犯ノ規則ニ依テ確定セララル

第一千七百二條 所有權利ニ由テモ信任或ハ其他ノ委

任ニ由テモ法律ノ規則ニ原キテ不動産ヲ販賣スル

ヲ能ハサリシ者ヨリ情ヲ知テ其不動産ヲ購買シ又

ハ暴行ヲ以テ受領シタル動産ナルヲ知テ之ヲ購買

スル者ハ初度ニ於テハ他ノ者ノ財産ヲ法ニ背テ販

賣スル從罪人ノ如キ罰ニ處セラルル加之其者ハ各場
合ニ於テ其購買シタル財産ヲ眞ノ所有主ニ何等ノ
報償ナク返還セサル可ラス

第六十八 賭博富籤典舖ニ關スル罪

〇佛蘭西

第四百十條 賭博場ヲ設ケ人ヲシテ自由ニ入ラシメ
シ者又ハ管係アル者ノ申込ニテ人ヲ入ラシメシ者
又ハ其賭博場ニ於テ賭博ノ世話ヲ爲ス者又ハ法律
ニ於テ允許セサル富場ヲ設ケシ者又ハ賭博場富場
ノ支配人世話人ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ
少カラス六千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡
ヲ受ク可シ

且其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリ五年ヨリ少カラス
 十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル權
 利ヲ行フノ禁ヲ受ケシムルコトヲ得可シ
 何レノ場合ニ於テモ賭博又ハ富ニ用ヒタル金銀證
 券家具及ヒ其場所ニ具備排列シタル家具動産官
 ニ沒收ス可シ
 第四百十一條 相當ノ允許ヲ得スシテ典舖ヲ開キタ
 ル者又ハ允許ヲ得ルト雖モ規則ニ循ヒ剩白剩行ナ
 ク其貸渡シタル金高品物其借主ノ姓名住所職業質
 卜爲シタル品物ノ性質種類價高ヲ記シタル簿冊ヲ

設ケサル者ハ十五日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラ
 サル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少
 カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ
 受ク可シ

第四百二十一條 國債證票ノ相場ノ低昂ニ付キ賭博
 ナ爲シタル者ハ第四百十九條ニ記シタル刑ニ處セ
 ラル可シ

第四百二十二條 國債證票ノ賣拂又ハ引渡ヲ爲ス可
 キ契約ヲ結ヒシ時ニ當リ自ラ其證票ヲ所有スルノ
 證ナク又ハ引渡ヲ爲ス可キ時ニ當リ其證票ヲ有ス

ルノ證ナキ時ハ此等ノ契約ヲ賭博ナリト看做ス可
シ

第四百七十五條

第五 市街道路街衢ニ於テ富場及ヒ其他ノ賭博ヲ
爲ス場所ヲ設ケシ者

此等ノ者ハ六「フランク」ヨリ少カラス十「フランク」ヨ
リ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○獨逸

第二百八十四條 賭博場ヲ設ケテ業トスルモノハ二

年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ其余二百「ターレル」ヨ
リ二千「ターレル」ニ至ル罰金ニ處シ仍ホ公權剝奪ス
ルヲ得可シ

若シ其者外國人ナレハ政府ノ監察ニ付スル爲メ連
邦國ノ領地外ニ放逐スルヲ得可シ

第二百八十五條 公會ノ爲メ設ケタル場所ニ於テ賭
博ヲ免シ或ハ其賭博興行ヲ助ケテ隱匿シタル并其
場所ノ主人ハ五百「ターレル」ヨリ多カラサル罰金ニ
處ス可シ

第二百八十六條 官許ヲクシテ公然ト賑給ヲ興行ス

ル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ又千_タレ
ルヨリ多カラサル罰金ニ處ス可シ

動産不動産ヲ以テ賑給ヲ興行シタル者ハ金銀ヲ以
テノ賑給ト同ク論ス可シ

第二百八十九條

人ヲ欺ク意ニテ花利者_{他人ノ屬}

_{利益ヲ得ル}典物ニ取りタル者使用者<sub>他人ニ屬シタ
ルヲ云フ</sub>及ヒ物件ヲ引當トシテ押ヘラレタル者

ヨリ己レニ屬スル動産ヲ取去シタル者或ハ他人ノ
爲メニ前件ノ場合ニ於テ己レニ屬セサル動産ヲ取
去シタル者ハ三年ヨリ長カラサル禁獄又ハ三百_タ

一_レルヨリ多カラサル罰金ニ處ス可シ

禁獄ノ外仍ホ公權ヲ剝奪ス可シ

之ヲ犯サントセシ所業モ亦罰ス可シ

訴ヲ待テ其罪ヲ論ス可シ

第二百四十七條ノ第二項三項モ此條ニ通シテ用フ

可シ

第二百九十條

公然タル典舖典物ニ取りタル物件ヲ

許シナク使用シタル者ハ一年ヨリ長カラサル禁獄

ニ處シ仍ホ三百_タ一_レルヨリ多カラサル罰金ニ處

ス可シ

○白耳義

第三百一條 凡圖ヲ用ヒテ人ニ利ヲ圖ラシムル者ヲ
稱シテ賑給票ト云フ

第三百二條 凡官許ヲ受ケス賑給票ヲ施行スル發行
人管主人等ハ皆八日ヨリ三月迄ノ獄ニ處シ五十フ
ランクヨリ三千フランク迄ノ罰金ヲ命ス可ク其賑
給票ニ備ヘタル物品ハ皆官ニ沒入ス可シ
若シ不動産ヲ賭スル者ハ沒入ニ處セス一百フラン
クヨリ一万フランク迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百三條 凡官許ヲ受ケザル賑給票ノ證券ヲ分派
販賣スル者掲壁新聞等ニテ賑給票ヲ公布スル者等
ハ皆八日ヨリ一月迄ノ獄ニ處シ二十六フランクヨ
リ一千フランク迄ノ罰金ヲ命ス可ク若クハ唯此一
ヲ科ス可シ證票掲壁公告書類ハ直チニ消却ス可シ

第三百四條 凡證票ヲ持シテ分派シ或ハ壁ニ公告書
ヲ貼スル者等ノ其書類ヲ發行スル者ヲ告ルハ坐セ
ス

第三百五條 凡官許ヲ受ケス賭房ヲ開キ或ハ衆ノ出
入ヲ自在ニシ或ハ人ヲ其場ニ誘導スル者ハ賭主及

七其他ノ管當人共ニ皆八日ヨリ六月迄ノ獄ニ處シ
一百「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ且第三十三條ノ
奪權ニ處スルヲアリ

賭房ニアル財物及ヒ賭具ハ皆官ニ沒入ス可シ

第三百六條 凡官許ナク典物舗ヲ開ク者ハ八日ヨリ
三月迄ノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ一千「フラン
ク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百七條 凡官許ヲ受ケテ開キタル典物舗ノ簿籍
規則貸渡ス可キ金高或ハ物品負債主ノ姓名住所職
業典物ノ目錄及ヒ其品位價直等ヲ餘白ヲ存セス滿

葉ニ連書スルヲ規則トスニ違フ者ハ八日ヨリ一月
迄ノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ五百「フランク」迄
ノ罰金ヲ命ス可ク若クハ唯此一ヲ科ス可シ

第三百八條 凡常ニ人ノ爲メニ賃錢ヲ取り典物スル
者

常ニ人ノ典物證票ヲ買フ者

新賃物ノ來ル可キヲ證據トシ典物證票ヲ賣買スル
者

以上ハ皆八日ヨリ三月迄ノ獄ニ處シ二十六「フラン
ク」ヨリ二千「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

○埃及

第三百十六條 賭博場ヲ設ケ衆人ヲ入ラシムル者又
 ハ其金主ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル
 時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百「ピアストル」ヨリ少カ
 ラス五千「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サ
 ル可シ

賭博場ニ在ル財貨及ヒ動産ハ官ニ沒收ス可シ

第三百十七條 官許ヲ得スシテ富場ヲ設ケタル者ハ
 一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ

刑ニ處セラレ且百「ピアストル」ヨリ少カラス五千「ピ
 アストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ
 富場ニ在ル財貨及ヒ動産ハ官ニ沒收ス可シ
 眞ノ仁恤ノ爲メ設ケタル富場ニハ此條ノ規則ヲ通
 シ用フ可ラス

○英吉利

凡賭房ヲ開張シ或ハ其場ニ在テ金錢ヲ博徒ニ借與シ
 或ハ受寄スル者ハ邏卒裁判所ニ於テ開張スル日ヨ
 リ通計シ一日ニ四十「シリング」及ヒ度数ヲ計ヘ毎

賭九シルリング「八」ペンスノ罰金ヲ出サシメ且五百
 封度ニ至ル罰金ヲ加フ或ハ十二ヶ月ニ止ル入獄ニ
 處シ若クハ苦役ヲ加フ
 若シ其徒ニ在ル者ト雖モ能ク其窩主ノ確證ヲ獲テ
 官司ニ告首スル者ハ全ク其罪ヲ免ルズ
 若シ偽計ヲ設ケ財物ヲ賭シ人ヲ詐欺スル者ハ詐偽
 取財物ヲ以テ論ス
 若シ市場路傍等ニ於テ財貨ヲ賭博スル者ハ無宿人
 ト稱シ其犯ス所ニ從テ罪ニ科ス

○加利堡爾尼

第三百十九條 凡金ヲ出シ若クハ金ヲ出サシメテ約
 シテ貨物若クハ其貨物ノ幾分ヲ得ルノ造化牌ヲ買
 ヒ或ハ其貨物ノ股分牌利子牌ヲ買フ者ニ其造化ノ
 好否ニ因テ其貨物ヲ交付分與スルノ賭法ハ拈圖投
 票偶得等種々名目アリト雖モ總テ之ヲ拈圖ト稱ス
 ルナリ

第三百二十條 凡拈圖ヲ畫策製造建設經營抽引スル
 者ハ並ニ小罪ト爲ス

第三百二十一條 凡拈圖ノ籤符造化牌股分牌利子牌

及ヒ右諸牌ニ換用ス可キ紙片信票符物ヲ人ニ發賣
供與給付送致スル者ハ並ニ小罪ト爲ス

第三百二十二條 凡拈圖ヲ設爲行施抽引スル者若ク
ハ其籤符造化牌股分牌ヲ販賣發配スル者ヲ幫助夾
介スル爲メニ印刷筆記廣告公布等ノヲヲナス者ハ
並ニ小罪ト爲ス

第三百二十三條 凡拈圖ノ籤符ヲ發賣シ若クハ其記
號ヲ登記スルノ局場ヲ開展設爲保有シ若クハ人ヲ
シテ之ヲナサシムル者或ハ印刷筆記ヲ以テ這樣ノ
局場ノ設爲開展現用ヲ廣告公布スル者ハ並ニ小罪

ト爲ス

第三百二十四條 凡本州若クハ他州ニ行ハル、所ノ
拈圖ニ於テ其抽籤ノ幸不幸ニ保險シ若クハ代價ヲ
受ケテ之ニ保險スル者或ハ其拈圖ノ籤符若クハ籤
符ノ記號若シ幸不幸ヲ奏シ若クハ某ノ時間或ハ某
ノ順序ヲ以テ抽出セラレ若クハ抽出セラレズンハ
必ス某額ノ金若クハ他ノ物品ヲ還付遞與セント約
シテ之カ爲メニ若干ノ代價ヲ受ル者或ハ代價ノ受
不受ヲ論セス拈圖ノ抽籤ニ關スル變事ニ逢ハ、必
ス某額ノ金ヲ交付シ或ハ某ノ貨物某ノ産業某ノ應

訟品ヲ遞與シ若クハ某氏ノ爲メニ某ノ事ヲ不行セ
ント約スル者或ハ這樣ノ結構ノ稟告設置ヲ公布ス
ル者ハ並ニ小罪ト爲ス

第三百二十五條 凡此章ノ諸條例ヲ犯シテ販賣分與
ニ供セル金錢貨物ハ悉ク之ヲ本州ニ沒收ス爾後若
シ之ヲ請還セント欲スル者ハ表法長官若クハ區代
言官ニ頼テ州名ノ知告書若クハ州名ノ訟書ヲ進呈
シテ之ヲ回還スルヲ得可シ此時ニハ其審院ノ書
記官當ニ停留狀ヲ發シテ其請還スル所ノ貨物ヲ停
留ス可シ若シ保安審院ニ申訴スルハ保
安審官親カラ此停留狀ヲ發ス

此停留狀ハ區審院ヨリ私訟ノ爲メニ發スル所ノ停
留狀ト其効力ヲ同フシ之ヲ發スルノ法方モ亦同シ
第三百二十六條 凡拈圖ヲ設爲施行抽引シ若クハ其
籤符ヲ販賣發配スルノ用タルヲ知テ之ニ其室家
船舶若クハ其室家船舶ノ幾分ヲ貸與允許スル者ハ
並ニ小罪ト爲ス

第三百三十條 凡金錢契券代錢票及ヒ其他ノ代貨票
ヲ賭シテ各種ノ賭博「フエイロー」「モンテ」「ルーレット」
「アール」「ロン」ト「其他總テ骨牌骰子等
ノ器具ヲ以テ博スル者」ヲ言フナリ 營業娛玩施行
開展シ若クハ開展スルヲ致ス者或ハ本主トナリ

若クハ有無備錢ノ屬手トナツテ各種ノ賭博ヲ管理
スル者ハ並ニ二百元以上千元以下ノ罰金ヲ科シ若
シ其罰金及ヒ申告ノ費用ヲ出サ、レハ一年以下ノ
禁固ヲ科シテ以テ其出金ヲ責ム

第三百三十一條 凡其家屋ノ全部若クハ一分ヲ領有
借有セル者若シ情ヲ知テ上條ノ賭博ヲ茲ニ娛玩管
理營業スルコトヲ允許スル者ハ其刑上條ニ同シ

第三百三十二條 凡造化賭ヲ行ヒ若クハ賭貸ニ股分
ヲ有シ若クハ奕者ノ爲ニ賭貸ヲ出セル者詐欺局
騙誑賺等ヲ以テ其金錢貨物ヲ贏取スルキハ其自ラ

爲メニスルト人ノ爲メニスルトヲ論セス並ニ小罪
ト爲ス

第三百三十三條 凡此章ノ諸條例ヨリ生スル公訟ニ
式ノ如ク審問ノ席ニ呼徴セラレタル證人若シ不肯
シ或ハ怠テ其呼徴ニ應セサルキハ小罪ト爲ス

第三百三十四條 凡賭博ノ證人タルニ充分ナル者ハ
自ラ罪ニ陷ルノ恐レアリト云フヲ以テ其立證ヲ辭
スルコトヲ得ス但シ此時ニハ立證スル所ノ犯事ニ連
累スルヲ以テ後日ニ其證人ヲ公認スルコトヲ許サス

第三百三十五條 區代言官成法官成法吏及ヒ邏卒ハ

皆此章ノ諸條例ヲ犯セルノ疑アル者ヲ知告シテ且
慎重ニ之ヲ究述ス應シ若シ不肯シ或ハ怠テ知告究
述セサル者ハ小罪ト爲ス

第三百三十八條 凡十分一以上ノ歳息ヲ收メテ典商
ノ業ヲ營ム者ハ准票アルニ非サルヨリハ小罪ト爲
ス

第三百三十九條 凡典商其業ヲ營ムニ當リテ各典買
ノ時日期限及ヒ母子ノ金額若クハ其典物品性ノ委
詳若クハ其典賣者ノ姓名邑里ヲ其所藏ノ簿册ニ登
記セス或ハ典賣者ニ其登記ノ手寫ヲ遞與セス若ク

ハ其典物ヲ賣却セル計算書ヲ收貯セサル者ハ並ニ
小罪ト爲ス

第三百四十條 凡典商若シ百分ノ四ヲ越ルノ月息ヲ
科收シ若クハ供應錢折頭錢棧租若クハ利上利等ヲ
課シテ其息ヲ増益シ若クハ増益セント試過スル者
ハ並ニ小罪ト爲ス

第三百四十一條 凡典商若シ其典領セル物品ヲ滿期
後六閱月ノ前ニ賣却シ若クハ六月後ノ賣却ト雖モ
其五日前迄ニ其府其邑若クハ其郡ノ新報ニ其賣品
ノ名目及ヒ其賣却ノ時日地名ヲ記載セサル者ハ並

ニ小罪ト爲ス

第三百四十二條 凡典商其典領セル所ノ物品ヲ賣却スル後典賣者若クハ典賣代理者ニ其買者ノ姓名ト其價額トヲ開述スルヲ故ラニ不肯シ若クハ其全價中ヨリ母子ノ金額ト母金百分四ノ賣却勞錢ヲ扣除スルノ後肯テ其剩餘ヲ典賣者若クハ典賣代理者ニ還附セサル者ハ並ニ小罪ト爲ス

第三百四十三條 凡典商若シ家財搜索票或ハ應該保安官吏ノ命令狀ヲ携帯セル公差吏ヲ拒ンテ其典物若クハ賣品計算書ヲ出示スルヲ不成不肯怠惰ス

ル者ハ小罪ト爲ス

○魯西亞

第九百九十條 己ノ家或ハ其他ノ場所ニ禁制ノ博戯場ヲ設ケ或ハ設ケシムル者ハ初度ニ於テハ三十一ル一ブル以下ノ贖金再度ニ於テハ同上ノ贖金ノ外三週間ヨリ少カラス三箇月間ヨリ多カヲサル時間ノ拘留三度ニ於テハ同上ノ贖金ノ外四箇月ヨリ少カラス八箇月ヨリ多カヲサル時間ノ禁獄ニ處セラル

(第九百二十九條)

第九百九十一條 禁制或ハ不禁制ノ遊戯ニ於テ詐欺ヲ爲ス罪人ハ此刑法第千六百七十條ニ確定シタル罰ニ處セラル

第九百九十二條 富講ヲ爲スニ方リ詐欺ヲ爲ス罪人ハ骨牌及ヒ骰子等ノ遊戯ニ於テ詐僞ヲ爲スニ就キ

此刑法第千六百七十條ニ確定シタル罰ニ處セラル

第千六百七十條 禁制或ハ無禁制ノ遊戯ニ知テ贋造

ノ骨牌及ヒ骰子等ヲ使用シ又酒或ハ毒ヲ遊戯者ニ

與ヘ又ハ骨牌或ハ骰子ヲ配換或ハ欺替シ又ハ總テ

勝ヲ得ンカ爲メニ或ル他ノ詐欺アルヲ證徴セラル

者ハ身体及ヒ族位ニ屬シタル特權全部ノ剝奪及

ヒ此刑法第三十一條ノ第五等ニ依テ西比利住所ノ

放流或ハ懲囚隊内ノ編入ニ處セラル

第千二百七十四條 船舶ノ役夫或ハ航夫ハ船舶ニ於

テ骨牌或ハ骰子ノ遊戯ヲ爲スルハ初度ニ於テハ二

晝夜間ノ賃金ヨリ多カラサル贖金再度ニ於テハ二

晝夜間ノ賃金ヨリ多カラサル贖金三度ニ於テハ三

晝夜間ノ賃金ヨリ多カラサル贖金ニ處セラル

○墾地利 千八百五十二年五月二十七日布告

第五百二十二條

博奕賭ノ諸勝負爾他凡特別ノ制令

ヲ以テ禁止セラレタル遊戯ヲ取行フ者ハ其黨悉皆

併ニ住所ヲ貸シテ該戯ヲ弄セシメシ者トモ違式罪

トシ「十」グールドン以上「九百」グールドン以下ノ罰金ニ處

ス可シ但シ然ルキ其三分一ハ告知者ニ給與スルヲ

トス若シ又該告知者其黨ニ係ルキハ併セテ其處刑

ヲ免ス可シ

外國人ニシテ此違式ヲ犯スルハ之ヲ全國外ニ追放

ス可シ

第六十九 賣買貿易ニ關スル罪

○佛蘭西

第四百十二條 不動産動産ヲ所有スル權不動産動産

ノ入額ヲ得ル權不動産動産ヲ貸賃ヲ得テ貸與フル

權起作供給商業ノ得利土地ノ開墾及ヒ其他利分ヲ

得ル權ヲ糶賣ニ爲ス時其糶賣ノ前又ハ其糶賣ノ間

ニ暴行脅迫ヲ爲シテ其糶賣又ハ價ヲ附クルノ自由

ヲ妨ケタル者ハ十五日ヨリ少カラス三月ヨリ多カ

ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百「フランク」ヨリ

少カラス五千「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡

ヲ受ク可シ

贈遺又ハ契約ニ因リ價ヲ附クル者ノ其糶賣ノ場所ニ至ルヲ止メシメシ者ハ同上ノ刑ニ處セラレ可シ

第四百十三條

外國ニ輸出スル佛蘭西ノ製造品ノ性

質種類大小ヲ定ムル爲メ設ケタル行政規則ニ背キ

シ者ハ二百「フランク」ヨリ少カラヌ三千「フランク」ヨ

リ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且其品物ヲ沒收セ

ラル可シ

但シ此二個ノ刑ハ其時ノ景況ニ因リ之ヲ合セテ言渡シ又ハ其一個ノミヲ言渡ス可シ

第四百十九條

故意ヲ以テ公ケニ詐偽或ハ讒誣ノ風

評ヲ流布シ又ハ賣主ノ望ム所ノ價ヨリ更ニ高價ヲ

附ケ又ハ同一ノ商品ヲ所有スル重立タル者ヲ協議

セシメテ其商品ヲ賣ルヲ停止セシメ或ハ特ニ定メ

タル價ニ非サレハ賣ラサルヲ定メシメ又ハ其他如

何ナル方法ヲ論セス偽計ヲ用ヒ商品紙幣國債證券

ノ價ヲ貿易ノ自由ニ因リ相競フテ自然ニ定マル可

キ價ヨリ更ニ低昂セシメタル者ハ一月ヨリ少カラ

ス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且

五百「フランク」ヨリ少カラヌ一萬「フランク」ヨリ多カ

ヲサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ又其犯人ハ裁判所ノ言渡ヲ以テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ケシムルヲ得可シ

第四百二十條 若シ穀物及ヒ粗惡ノ穀物又ハ穀粉及ヒ諸般ノ粉ト爲ス可キ物又ハ麩包葡萄酒及ヒ其他ノ飲料ニ付キ前條ニ記シタル罪ヲ犯セシ者ハ二月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル且千「フランク」ヨリ少カラス二萬「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ又其犯人ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル

時間政府ノ監察ヲ受ケシムルヲ得可シ

第四百二十一條 國債證票ノ相場ノ低昂ニ付キ賭博ヲ爲シタル者ハ第四百十九條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

第四百二十二條 國債證票ノ賣拂又ハ引渡ヲ爲ス可キ契約ヲ結ヒシ時ニ當リ自ラ其證票ヲ所有スルノ證ナク又ハ引渡ヲ爲ス可キ時ニ當リ其證票ヲ有スルノ證ナキ時ハ此等ノ契約ヲ賭博ナリト看做ス可シ

第四百二十三條 (千八百六十三年五月) 金銀ノ性質真物

ナリト言ヒ販賣セシ贋造石類ノ性質諸般ノ商品ノ性質ニ付キ買主ヲ欺キシ者又ハ贋造シタル度量ノ具ヲ用ヒテ販賣ヲ爲ス品物ノ分量ヲ偽リシ者ハ三月ヨリ少カラズ一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且損失償還ノ高ノ四分一ヨリ多カラズ五十フランクヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

此輕罪ニ管シタル品物又ハ其代金尙ホ其賣主ニ屬スル時ハ之ヲ沒收シ且其贋造シタル度量ノ具モ亦沒收シテ之ヲ破毀ス可シ

又裁判所ヨリ指示シタル場所ニ其刑ノ言渡書ヲ貼附シ且其言渡書ノ摘撮書又ハ其全文ヲ裁判所ヨリ指示シタル新聞紙ニ印ス可キヲ言渡シ其費用ヲ犯人ヨリ償ハシム可シ

第四百二十四條 若シ賣主ト買主ト互ニ取引ヲ爲スニ付キ法律上ニ定メタルモノニ非サル度量ノ具ヲ用ヒシ時ハ賣主其犯禁ノ度量ノ具ヲ用ヒ買主ヲ欺クト雖モ買主其賣主ニ對シ訴訟ヲ爲ス可ラス但シ此規則ト犯禁ノ度量ノ具ヲ用ヒタル罪及ヒ詐僞ノ罪ニ付キ其犯人ヲ刑ニ處ス可キ旨ヲ檢察官ヨリ求

ムル事ト相觸ル、ヲナカル可シ
詐偽ノ刑ハ前條ニ記シタル所ニ循フ可シ
犯禁ノ度量ノ具ヲ用ヒシ罪ハ第四卷ニ記スル註誤
ノ罪ヲ處ス可キ刑ヲ用ヒ罰ス可シ

第四百二十五條 著述者ノ藏版專賣ニ管シタル規則

ニ背キ書類歌謠畫圖又ハ其他活刷或ハ彫刻シタル
物ノ全部又ハ一部ヲ發行スルハ偽版ノ罪ナリトス
但シ諸般ノ偽版ハ皆輕罪ナリ

第四百二十六條 偽版ノ書類ヲ販賣シ又ハ外國ニ於

テ偽版シタル佛蘭西ノ書類ヲ佛蘭西國內ニ携へ來

リタル時ハ亦同上ノ輕罪ナリトス

第四百二十七條 偽版者及ヒ外國ニ於テ偽版シタル

書類ヲ佛蘭西國內ニ携へ來リシ者ハ百フランクヨ

リ少カラヌ二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言

渡ヲ受ケ其偽版ノ書類ヲ販賣セシ者ハ二十五フ

ンクヨリ少カラヌ五百フランクヨリ多カラサル罰

金ノ言渡ヲ受ク可シ

偽版者又ハ偽版書ヲ外國ヨリ携へ來リシ者又ハ之

ヲ販賣セシ者ハ皆其偽版ノ印本ヲ沒收セラル可シ

偽版書ヲ印シタル版本鑄模活字ハ沒收セラル可シ

第四百二十八條 作者ノ藏版專賣ノ規則ニ背キ劇場

ニ於テ曲伎ヲ演セシメシ劇場ノ支配人目論見人技

藝者ハ五十「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨ

リ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且其受取金高ヲ沒

收セラル可シ

第四百二十九條 前四條ニ記シタル場合ニ於テ其沒

收シタル物品及ヒ受取金高ハ著述者及ヒ作者ノ被

リタル損失ヲ償フ可キ爲メ之ヲ其著述者及ヒ作者

ニ渡ス可シ但シ其償ノ餘額ハ通常ノ方法ニ因テ之

ヲ定メ又沒入シタル物品ヲ賣拂ハス又其受取高ヲ

徴收セサル時ハ其償ノ總額ヲ通常ノ方法ニ因テ定

ム可シ

第四百十二條

千八百六十三年五月十三日如左改ム

政府ノ名義ヲ以テ

各種ノ物品商品ニ附ク可キ記號ヲ質造シ或ハ其質

造ノ記號ヲ用ヒタル者又ハ官署ノ印及ヒ記號ヲ質

造シ或ハ其質造ノ印及ヒ記號ヲ用ヒタル者又ハ郵

便切手ヲ質造シ或ハ其質造シタル郵便切手ヲ故ヲ

ニ用ヒタル者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラ

サル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

又此等ノ犯人ノ其刑ヲ受ケシ日ヨリ五年ヨリ少カ

ラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル權利ヲ剝奪スルヲ得可シ

又此等ノ犯人ニ裁判所ノ言渡ヲ以テ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ケシムルヲ得可シ

又此罪ヲ犯サント謀試セシ者モ亦同上ノ刑ニ處セラル可シ

第三百十四條

「スナイレー」極メテ小形ナ「トロンブロ

ン」極メテ小形ナ又ハ其他法律或ハ行政規則ヲ以テ制禁シタル各種ノ兵器類ヲ製造シ或ハ販賣シタル

者ハ六月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ 以下略

〇獨逸

第二百八十七條 連邦國ノ製造主產物主又商人ノ姓

名又商社ノ名號ヲ偽テ其商品及ヒ其包ニ印ルシタル者又ハ其偽印物タルヲ知り故ヲニ之ヲ通用セシメタル者ハ五十「ターレル」ヨリ千「ターレル」ニ至ル罰金又ハ六月ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

現今頒布ノ法律及ヒ交際條約ニ循ヒ獨逸國人民ヲ

保護スルトアルノ外國人民同種ノ罪ヲ犯シタル者
ハ其同刑ニ處シ以テ之ヲ保護ス可シ
已ニ印ヲ押シタル商品ノ姓名及ヒ商社ノ名號ヲ變
換シ假令其變換些少ニテ格別注意シテ之ヲ検査ス
ルニアラサレハ分明ナルコトヲ得サル時モ亦同刑ニ
處ス可シ

第三百二十四條 故ラニ他人ノ用水トナリタル水溜
井又ハ公然ト賣商ス可キ各種ノ物品又ハ公ケノ命
用物品ニ毒シタル者又ハ之ニ人ノ健康ヲ害スル物
品ヲ混合シタル者又其毒物及ヒ健康ヲ害スル物ヲ

混合シタルヲ知テ其事ヲ買主ニ告知スルコトナク故
ラニ之ヲ販賣シ又ハ之ヲ賣物トナシ發行シタル者
ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處シ因テ人ヲ死ニ致
シタル者ハ十年ヨリ短カラサル徒刑又ハ無期ノ徒
刑ニ處ス可シ

第三百二十五條 三百六條ヨリ三百八條三百十一條
ヨリ三百十三條及ヒ三百十五條三百二十一條ヨリ
三百二十四條ニ至ル條ニ記シタル者ハ徒刑ノ外仍
ホ政府ノ監察ニ付ス可シ

○白耳義

第三百十一條 凡奸計ヲ以テ商品紙幣國債證票ノ價額ヲ昂低セシムル者ハ一月ヨリ二年迄ノ獄ニ處シ三百「フランク」ヨリ一万「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百十二條 凡各縣城堡府廓等ノ部將縣官及ヒ權官等其管下ノ地ニ於テ前條ノ法ヲ犯ス者若クハ其犯ニ與スル者ハ本刑ノ外尙ホ第三十一條一二三ノ奪權ニ處ス可シ

第三百十三條 凡衆ヲ連結シ若クハ暴行脅迫ヲ用ヒ

茶穀市場ヲ抄掠スル者或ハ強テ廉價ニ賣買セシムル者ハ三月ヨリ二年迄ノ獄ニ處ス可シ

其首謀挑撥人ハ六月ヨリ三年迄ノ獄ニ處シ五年ヨリ十年迄ノ警察ヲ受ケシム可シ

第三百十四條 凡動靜財産入額動靜産ノ貸付方及ヒ發起人等賣買ヲ爲スニ當リ暴行脅迫ヲ用ヒ糶賣入札ノ自由ヲ妨ル者ハ十五日ヨリ六月迄ノ獄ニ處シ百「フランク」ヨリ三千「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十四條 凡賣品飲食料ニ人ヲ殺ス可キ物質或ハ人ノ篤疾ヲ起ス可キ物質ヲ調和スル者及ヒ調

和セシムル者ハ六月ヨリ五年迄ノ獄ニ處シ二百「フ
ランク」ヨリ二千「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第四百五十五條 凡左ノ犯罪ハ罪前條ニ同シ前條載
ル毒物ヲ調和セル飲食料ヲ知テ之ヲ賣ル者之ヲ舖
ニ展肆スル者飲食料ヲ變質ノ用ニ充スヲ知リ毒質
ノ物品ヲ賣ル者

第四百五十六條 凡賣品飲食料ノ毒質ヲ含メル物々
ルヲ知テ之ヲ舖店倉庫ニ貯フル者ハ三月ヨリ三年
迄ノ獄ニ處シ一百「フランク」ヨリ一千「フランク」迄ノ
罰金ヲ命ス可シ

第四百五十七條 凡變質飲食料ハ之ヲ没入シ滅去ス

可シ
其商價免狀ハ之ヲ取り上ケ受刑 在獄中ハ再ヒ之ヲ
與フ可ラス

尚ホ第三十三條ノ奪權ヲ科スルコアル可シ
裁判所ノ命ニ依テ其罪案ヲ裁判所ノ欲スル場所ニ
揭示セシメ又其全文若クハ概略ヲ裁判所ノ欲スル
新聞紙ニ載セシム但シ揭示及ヒ新聞紙記載ノ費ハ
皆犯人ニ之ヲ科ス可シ

第九十一條 凡製造物ノ記號ヲ除キ或ハ變造シ或

ハ眞記號上ニ他ノ記號ヲ貼用シ或ハ貼用セシメ或
ハ製造人名ヲ冒ス者ハ一月ヨリ六月迄ノ獄ニ處ス
可シ

商人及ヒ中介者等偽銘若クハ變銘ノ物品ヲ販賣ス
ル者モ罪同シ

第四百九十八條 凡買主ヲ欺クニ詐術ヲ行ヒ約定ス
ル所ノ物品ニ同シカラサル物品ヲ與フル者若クハ
約定スル所ノ物品ト外見ヲ等フシテ本質同シカラ
サルモノヲ與フル者ハ皆一月ヨリ一年迄ノ獄ニ處
シ五十「フランク」ヨリ一千「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス

可シ

第四百九十九條 凡詐謀ヲ用ヒ賣品ノ數量ヲ欺ク者
ハ八日ヨリ一年迄ノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ
一千「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

○埃及

第三百九條 故意ヲ以テ公ケニ詐偽或ハ讒誣ノ風評
ヲ流布シ又ハ賣主ノ期望スル價ヨリ更ニ高價ヲ附
ケ又ハ同一ノ商品ヲ所持スル重立チタル者ヲ連合
セシメ其商品ヲ賣ルヲ停止セシメ或ハ特ニ定メタ

ル價ヨリ更ニ廉價ニ賣ルヲ妨ケ又ハ其他方法ノ如何ヲ問ハス詐計ヲ用ヒ商品紙幣國債證票ノ價ヲ貿易ノ自由ニ因リ相競フテ自然ニ定マル可キ價ヨリ更ニ低昂セシメタル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五百「ピアストル」ヨリ少カラス一萬「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百十條 若シ肉類麩包薪石炭及ヒ其他必要品ニ付キ前條ニ記スル詐計ヲ行フタル時ハ前條ノ刑ヲ倍スルヲ得可シ

第三百十一條 何人ニ限ラス金銀材料ノ性合ニ付キ

人ヲ欺キ或ハ偽造ノ寶石ヲ眞物ナリト言ヒ賣渡シ或ハ其他ノ商品ノ性合ニ付キ人ヲ欺キタル者又ハ贋造偽造ノ度量ノ具ヲ用ヒ賣渡シタル品物ノ分量ニ付キ買主ヲ欺キタル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且損失償還高ノ四分一ヨリ多カラス三十「ピアストル」ヨリ少カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

其贋造偽造ノ度量ノ具ハ之ヲ破毀ス可シ

第三百十二條 他人藏板ノ權ニ管スル法律及ヒ規則

ニ背キ書籍ヲ刷行シ或ハ刷行セシメ又ハ一人或ハ
 會社ニ專賣ノ特權ヲ許シタル物品ヲ造リ或ハ造ラ
 シメタル者ハ偽造分トハ異ナリ第九條ノ罪アリトス
 第三百十三條 偽造ノ書籍又ハ物品ハ特權アル者ノ
 爲メ之ヲ沒收シ偽造者ハ五百「ピアストル」ヨリ少カ
 ラス一萬「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サ
 ル可シ又外國ニテ偽造セシ書籍或ハ物品ヲ埃及國
 内ニ輸入スル者ハ亦五百「ピアストル」ヨリ少カラス
 一萬「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可
 シ

右偽造ノ書籍又ハ物品ノ偽造タルヲ知テ之ヲ賣リ
 タル者ハ百「ピアストル」ヨリ少カラス二千五百「ピア
 ストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百十四條 又作者或ハ其讓受人ニ屬スル技術ノ
 物品或ハ歌謠ノ書ヲ偽造シ又ハ規則ニ循ヒ製造者
 ノミニ屬ス可キ製造記號ヲ偽造シタル者ハ亦五百
 「ピアストル」ヨリ少カラス一萬「ピアストル」ヨリ多カ
 ラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百十五條 前條ニ記スル偽造ノ技術物品ヲ賣リ
 或ハ偽造ノ記號ヲ用ヒシ商品ヲ賣リタル者又ハ作

者ノ權利ヲ害シテ公ケニ音樂ヲ奏シ或ハ演劇ヲ爲
サシメタル者ハ百「ピアストル」ヨリ少カラス二千五
百「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百八條 動産不動産ノ糶賣ヲ爲シ又ハ起作供給
公務ノ入札ヲ爲スニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其糶賣又
ハ入札ノ前後ヲ問ハス其自由ヲ妨害シタル者ハ十
五日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラレ且百「ピアストル」ヨリ少カラス一萬ピ
アストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第二百三十四條 何人ニ限ラス免許狀ヲ得ス製藥店

ヲ開キシ者ハ埃及ノ貨幣十「リール」ヨリ少カラス
五十「リール」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第二百三十五條 何人ニ限ラス人ノ健康ヲ害スル混
合物ノ入りシ偽造ノ飲料ヲ賣リ又ハ買主ヲシテ規
則ニ定メシ保證ヲ爲サシムル「ナク毒藥ヲ賣リ」タ
ル者ハ一週ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ處セラレ且埃及ノ貨幣一「リール」ヨリ
少カラス二十五「リール」ヨリ多カラサル罰金ヲ言
渡サレ並ニ右ノ物品ヲ徵收セラル可シ
犯人ノ所有シ又ハ其住所ニ在ル偽造ノ飲料ハ之ヲ

徴收シテ滅却ス可シ

○英吉利

凡諸商人ノ其販賣スル所ノ品物或ハ書冊等ニ點注シ
 アル印記ヲ偽造スル者ハ輕罪ニ坐シ贖罪或ハ二年
 ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ或ハ入獄贖罪
 ナ併用ス仍ホ偽造スル品物ハ盡ク官ニ沒入ス
 凡諸商人諸品物ニ點注シアル印符等ヲ全ク偽造ナル
 ナ知テ販賣シ或ハ偽造ノ權衡斗量ヲ將テ販賣スル
 者ハ並ニ贖罪及ヒ入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

人ノ健康ヲ害ス可キ若クハ危險ナル品物ヲ賣買製造
 シテ人民ノ煩惱ヲナス者其一般ニ係ルハ贖罪及ヒ
 入獄ニ處シ其一人ニ係ルハ訴訟裁判所ニ於テ償金
 ナ出サシメテ付與セシム
 凡官位ヲ以テ私ニ賣リ及ヒ之ヲ買フ者ハ賣買官
 職罪ヲ以テ各輕罪ニ坐ス
 其品物ヲ以テ取與シ或ハ止メ賣買ヲ商議スル者及
 ヒ偽テ商議スル者ハ並ニ其罪ニ坐セス若シ公然ト
 店屋ヲ開キ官位ヲ賣買スルヲ牙媒スル者モ亦輕
 罪ニ坐ス

凡應禁ノ器物ヲ私ニ外國ニ輸出シ若クハ國內ニ輸入
 シ或ハ商稅ヲ出サスシテ私ニ外國ノ品物ヲ國內ニ
 輸入スル者ハ其品物ハ盡ク官ニ沒入ス
 若シ品物ヲ爲シニ隱藏シ或ハ之ヲ賣買シテ終ニ官
 司ヲ瞞欺セントスル者ハ運上所ニ於テ其品物ノ三
 倍ヲ追徵シ或ハ百封度ノ罰金ヲ出サシメ初犯ハ六
 ケ月ヨリ十二ケ月ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ
 加ヘ再犯ハ九ケ月ヨリ十二ケ月ノ入獄ニ處シ三犯
 以上モ仍ホ十二ケ月ニ止ル
 若シ二人以上軍器ヲ携帯シテ相聚リ其應禁及ヒ未

タ稅ヲ出サ、ル品物ヲ運輸スルヲ資力シ或ハ官司
 ノ己ニ挈擡スル品物ヲ復奪セントスル者ハ並ニ重
 罪ニ坐シ十五年ヨリ終身ノ徒罪ニ處シ或ハ三年ニ
 至ル入獄ニ處斷ス
 若シ三百里内ノ海濱ニ於テ故ラニ官府ニ屬スル船
 舶ニ砲發シ或ハ應禁ノ器物等ヲ檢査挈擡スル官吏
 ニ砲發シテ殘傷セシメル者モ重罪ニ坐シ罪亦同シ
 凡新ニ發明スル諸物或ハ板圖火藥硝石等ノ已レ一身
 ニ官府ヨリ許容シテ賣買作造セシメルニ餘人ノ之
 ヲ盜爲シテ妨障スル者ハ損害ノ償金ヲ出サシメテ

許容スルモノニ付與セシム
 凡腐敗疾毒アル獸肉ヲ販賣シ或ハ人ノ健康ヲ損害ス
 可キ物ヲ飲食ニ交混シテ販賣シ或ハ情ヲ知テ正品
 ト詐稱シ販賣スル者ハ並ニ邏卒裁判所ノ冗費ヲ出
 サシメ且五封度ノ罰金ヲ出サシム再犯スル者ハ其
 宿所姓名ヲ公然ト顯シテ衆人ニ其罪狀ヲ報知ス
 凡止ムコトヲ得サル工役ヲ除クノ外日曜日ニ於テ百工
 ノ職業ヲ爲ス者ハ五「シルリング」ノ罰金ヲ出サシム
 若シ商人ノ品物ヲ販賣スル者ハ其賣ル所ノ品物ヲ
 盡ク官司ニ没入ス

若シ日曜日ノ祭享スル時間ニ於テ酒舖ヲ開キ販賣
 スル者ハ治安裁判所ニテ賣與スル人ヲ計ヘ一人毎
 ニ五封度以下ノ罰金ヲ出サシム如シ饅舖ニ於テ販
 賣スル者ハ四十「シルリング」ノ罰金ヲ出サシム
 凡他人ノ市場ニ於テ穀麥茶蔬等ヲ販賣スルヲ恐喝シ
 テ妨障シ或ハ人ノ爲メニ品物ヲ運輸スルヲ恐喝シ
 テ支留スル者ハ邏卒裁判所ニ於テ三ヶ月ノ入獄及
 ヒ贖罪ニ處斷ス
 凡淫事ヲ以テ衆人ニ示シ或ハ淫事ノ圖畫ヲ公然ト販
 賣シ若クハ店舖ニ見示スル者ハ輕罪ニ坐シ贖罪ニ

處シ或ハ入獄ニ處ス若クハ贖罪入獄ヲ併用ス仍ホ
判事ノ適意ニ依テ苦役ヲ加フ

○墾地利 千八百五十二年五月二十七日布告

第百九十九條 第百九十七條ノ規則ニ從ヒ詐偽ハ其

處業ノ性質ニ從ヒ左ノ場合ニ於テ之ヲ重罪トス

(ハ) 職業上ニ使用ス可キ權量檢印ヲ有スルト有セ
サルトニ關セス不正又ハ小形ノモノヲ使用セシ
者

註ニ曰本條ノ規則ヲ施行スルハ凡物品ヲ秤價ス

可キ天秤定則ノ重量ニ合ハサルモノミナラズ其
衡初メヨリ不正ナルカ或ハ久シク使用シテ漸ク
其正ヲ失シ又ハ故ラニ之ヲ變易シ或ハ不圖差違
シテ掟則ニ稱ハス其使用人ハ然ル所以ヲ熟知セ
ルモ皆然ルモノトス

(ニ) 公用筆記類又ハ官府ノ表點セル極印押印及ヒ
品價印等ヲ贋造スル者

第百條 右ニ掲載スル者ノ外尙ホ凡本罪ヲ以テ他
人ニ加フルノ損害或ハ損害ヲ爲サシメントスルノ
惡圖二十五「グルデン」以下ノ事件ニ係ルモ亦之ヲ

重罪トス

第二百二條 詐偽ノ刑ハ大抵六月以上一年以下ノ徒刑トス然レモ特ニ加等ノ情狀見然スルニ於テハ一年以上五年以下ニ及ヒ得ルアリ

第三百四十五條 某藥劑販賣ハ普通賣藥條例或ハ特別ノ規則ニ從ヒ殊更注意ス可キニ其顧慮ナク妄リニ賣却セシ時ハ該賣藥營業主番頭及ヒ手代トモ違式罪トシ刑ス可シ

禁止ノ藥劑賣却セシヲ其舖主曾テ之ヲ知ラス故ニ唯監督不行届ノ責ノミアルキハ之ヲ二十五「グルデ

ン」以上五十「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ但シ再犯ノ場合ニ於テハ五十「グルデン」以上百「グルデン」以下トス又第三回ニ至テハ該人ニ賣藥營業ノ監督ヲ禁シ更ニ其代理ヲ置カシム可シ

第三百四十六條 禁止ノ藥劑賣却ニ方リ舖主豫メ之ヲ知ルキハ其違式初回ニ於テハ五十「グルデン」以上百「グルデン」以下ノ罰金再犯ニ於テハ百「グルデン」以上二百「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ若シ又其賣却セシ藥劑ニ依テ某甲害ヲ負ヒシキハ其害ノ多少ニ應シ一月以上六月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ

第三百四十七條

藥舖番頭其監督怠慢ノ罪ヲ犯セシ

キハ初回ニ於テハ三日以上一月以下ノ禁獄ニ處ス

可ク再犯ニ於テハ其辨務ヲ剝ク可シ若シ又禁止ノ

藥劑賣却ヲ承領セシキハ一月以上六月以下ノ重禁

獄ニ處シ尙ホ自今藥舖ニ從事スルヲ禁止ス可シ

第三百四十八條

藥舖ノ手代禁止ノ劑ヲ其家長ノ承

知ヲ以テ賣却セシキハ一月以上三月以下ノ禁獄又

家長ニ告ケスシテ賣却セシキハ三月以上六月以下

ノ重禁獄ニ處ス可シ而シテ其違式二回ニ及ヘハ本

刑ノ外尙ホ藥劑修術ノ證書ヲ奪ヒ自今藥舖ノ門ニ

入ルヲ禁ス可シ

第三百五十四條

官許ヲ得シ賣藥舖及ヒ僻陬ノ地ニ

於テ内外科醫師家庭藥店ノ外妄リニ許可ナク内國

外國産ノ藥品販賣ノ禁ヲ犯ス者ハ一月以上三月以

下ノ禁獄トス其販賣己ニ數月ノ久キニ係ルキハ之

ニ苛嚴ヲ加フ可シ又其販賣吟味ノ間ニ方リ本劑ヲ

以テ害傷ヲ爲セシコ發覺スルニ於テハ一月以上六

月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ

第三百五十五條

爾他該販賣者苛嚴刑ニ處セラレ可

キ犯罪ニ於テハ其蓄藏セシ藥劑藥品爾他諸器械咸

ヲ沒收シ若シ外國人ナルキハ全境國疆域外ニ追放
ス可シ

第三百六十一條 公然官許アルニ非スシテ礮石其他
或ハ毒物ノ某種類若クハ法令ニ於テ毒品ト同シク
禁止セシ物ヲ販賣スル者ハ之ヲ違式罪トス凡這的
違式罪ニシテ殊ニ下條ニ其處刑條例ヲ掲ケサル者
ハ總テ五「グルデン」ヨリ多ク五十「グルデン」ヨリ少キ
罰金或ハ一日ヨリ多ク八日ヨリ少キ禁獄ニ處ス可
シ

第三百六十二條 商人若クハ細品鬻賣人ニシテ公然

肆店ヲ構ル者妄リニ毒品ヲ販賣スルキハ假令毒品
販賣中注意ノ規則ヲ失セスト雖モ之ヲ違式罪トシ
其初回ニ於テハ毒品沒收ノ外財産ノ高ニ應シ二十
五「グルデン」以上百「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ
其第二回ニ於テハ罰金ノ倍額ノ外尙ホ一月以下ノ
禁獄ニ處ス可シ又第三回ニ及ヘハ本營業禁止ノ刑
ニ處ス可シ

第三百六十三條 毒品販賣ノ特權ヲ有セサル商人若
クハ細物鬻賣者ニシテ殊ニ販賣中注意ス可キ規則
ヲ顧ミス妄リニ之ヲ鬻ク者ハ其初犯ニ於テ本營業

禁止ノ刑ニ處ス可シ爾他其糺彈ニ方リ該陰賣右ノ如ク粗忽ニシテ已ニ久シク之ヲ犯セシテ發覺セシキハ一月以上三月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ又之ニ依テ某甲ヲ死ニ致セシカ或ハ重キ害傷ヲ生セシメシキハ第三百三十五條ニ從テ之ヲ判ス可シ

第三百六十四條 行販者或ハ所謂巡賣者妄リニ白礬石黃礬石其他鼠蠅禽獸魚髓等ノ毒殺藥ヲ販賣スル爲メ提携シテ家々ニ之ヲ命スルキハ違式罪トシ其毒品沒收巡販免許褫奪ノ外已ニ販賣セシ時ノ長短及ヒ之ニ因テ蓋シ害傷ヲ致セシ危疑ノ多少ニ從テ

一月以上六月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ

第三百六十五條 藥舖若クハ他ノ商人ニシテ公然毒品商賣ノ權アル者凡毒品商賣上特ニ注意ス可キ規則ヲ放擲シ并ニ第三百六十六條乃至第三百六十八條ニ掲クル不注意モ違式罪トシ刑ス可シ

第三百六十六條 殊ニ亦成規ノ方ヲ以テ許可ヲ得サリシ者ニ毒品ヲ賣却スルキハ其初犯ニ於テ五「ダ」ルデシ以上五十「ダ」ルデシ以下又再回ニ及ヘハ本營業禁止ニ處ス可シ

第三百六十七條 凡毒品ヲ販賣セシキ自家帳簿中ニ

該品賣與ノ人名時間及ヒ同人所持ノ該品賣得免狀ヲ騰記シ置カサル者ハ其不注意ノ罰金十「グルデン」以上五十「グルデン」以下ヲ科ス可シ再犯ニ及スルハ百「グルデン」以下トス爾後尙ホ斯ノ如キ放擲ヲ所業アルニ於テハ本營業禁止ノ刑ニ處ス可シ

第三百七十條 毒品毒劑ヲ取扱フ家業ニ從事スルノ長及ヒ其代理タル者ハ必ス鄭重ニ之ヲ蓄藏シ其賣却ニ臨テハ特ニ該件ニ關スル條例ヲ注意シテ取扱フ可シ若シ此規則ヲ怠レハ假令害傷ヲ生セスト雖モ尙ホ違式罪トシ三日以上一月以下ノ禁獄又之ニ

依テ死亡若クハ重キ害傷ヲ生セシメシキハ其罪第三百三十五條ニ從テ刑セラレ可シ

第三百七十一條 某劑品ノ種類ハ未ダ曾テ醫家所用品ニ屬セス又官ノ試驗ヲ經ス全ク其性質知ル可ラサル物ニシテ之ヲ賣買スル者ハ總テ第三百六十八條ノ刑ニ處ス可シ

第三百九十九條 生肉若クハ調理或ハ炮煎セル肉類鬻賣營業ヲ爲ス者成規ノ検査ヲ經サル獸肉ヲ鬻クハ之ヲ違式罪トシ初犯ニ於テハ該肉及ヒ其内已ニ賣却セル代價沒收以外尙ホ三十五「グルデン」以上

二百「グルデン」以下ノ罰金再犯ニ於テハ其罰金倍額
又三犯ニ及ヘハ本業禁止自今永ク此類ノ營業ニ從
事スル能ハサルヲ言渡ス可シ

第四百七條

前ニ記載セル諸種毒物ノ外爾他ノ食物

ニ於テ各個調合品混同物或ハ偽物等凡原質實體ニ
於テ毒害ノ性質ヲ含ミ或ハ副加セル物品中或ハ調
合法又ハ調合器若クハ盛器中ニ健全ヲ害ス可キ性
質ヲ帶テ本食物ニ播傳セシ物品ヲ販賣スルキハ之
ヲ違式罪トシ刑ス可シ又ハ害ノ大小及ヒ販賣セシ
時ノ長短ニ應シ十「グルデン」以上百「グルデン」以下ノ

罰金或ハ三日以上一月以下ノ禁獄又情狀ノ甚シキ
ニ應シ之ニ苛嚴ヲ加フルコトアル可シ殊ニ尙ホ危疑
ス可キ情アレハ本刑法第四百四條及ヒ第四百五條
ニ從テ刑スルコトアル可シ

第四百八條

前條違式罪中左ノ事件ヲ尤モ重大ナリ

トス

- (ニ) 燒酒製造者或ハ其販賣者燒酒製造器械ノ設立
ニ關シ故ラニ布令セラレタル規則ノ不注意
- (ホ) 肉類炮煮其他凡炮煮ノ食物販賣ヲ以テ家業ト
爲ス者盛ルニ銅器ヲ用フル事

第四百四十五條 商人若クハ細品鬻賣者硝磺其他第三百三十六條(一)號下ニ記載セシ火災危險ノ物品商賣ヲ爲ス者若シ特ニ布令ヲ以テ定メラレタル定量ヲ越ヘテ多ク其倉庫若クハ屋中ニ蓄積スルカ或ハ其定量ノ蓄積ト雖モ成規ノ收藏法ニ悖ル者ハ之ヲ違式罪トシ其初回ニ於テハ過度ノ高及ヒ成規ノ蓄積方ニ悖レル物品沒收ノ外二十五[グルデン]以下ノ罰金ニ處ス可シ再犯ニ於テハ該物沒收ノ外其罰金倍額三犯ニ及ヘハ一月以下禁獄ノ外將來這的物品賣買禁止ノ刑ニ處セララル可シ

火災豫防法ニ從ヒ凡商人四[ホンド]ヨリ多クノ硝磺ヲ一庫中ニ貯藏スルヲ禁ス餘リアルハ必ス之ヲ別所ニ蓄フルヲ要ス破烈劑ヒロロール酸加里及ノ混合ノ混合物商賣ハ全ク之ヲ禁止ス(千八百五十二年ノ如キ)成法ノ水素酸素又氣發劑ノ混合其量十二[ロート]ヨリ多ク一時ニ調製ス可ラス而シテ直チニ調製所ニ於テ堅牢ノ器物ニ填スルニ非サレハ之ヲ運轉スルヲ禁ス(千八百二十八年五月十五日ノ立法)維納府ニ於テハ硝磺販賣營業者多クモ二十[ホンド]ヨリ多ク一倉庫内ニ置クヲ禁ス就中二[ホンド]毎ニ洋

鐵箱中ニ盛り庫中數所ニ之ヲ散納スルヲ要スル
ヲトス(千八百六十一年十一月二十四日ノ布令)

石油石炭油等賣買及ヒ收藏方規則ハ千八百六十

五年及ヒ六年等ノ布令憲法纂集中ニ詳カナリ

第四百四十六條 凡容易ク燒燃ス可キ物品販賣ヲ營

業トシ其貯藏ヲ爲ス者之ヲ平地上或ハ其他塀圍限

界等ヲ設ケサル危險ノ地へ蓄積スルハ違式罪ト

シ其物品ノ性質及ヒ多少ニ從テ二十五「グルデン」以

上五百「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ

第四百六十九條 錠前或ハ他ノ鍛冶職師曾テ識ラサ

ル人ノ囑ニ應シテ便鑰鍵鑰ヲ作り若クハ不審ノ見

本ニ擬造或ハ爲メニ錠前ヲ開放シ又錠前師ニシテ

使用合鍵ヲ堅ク包藏セス妄リニ不審ノ者へ貸渡シ

或ハ細品販賣者鍵鑰引鉤等ヲ賣買スルハ之ヲ違

式罪トシ二十五「グルデン」以上五十「グルデン」以下ノ

罰金再犯ニ於テハ其倍額三回ニ及ヘハ各々其營業

禁止ニ處ス可シ

第四百七十條 凡前條營業者ノ手代手間或ハ僕婢等

其主若クハ師長ノ承諾ナク擅ニ同條ノ物品ヲ販賣

スルハ一週以下ノ重禁獄ニ處ス可シ又再犯ニ於

テハ之ニ苛嚴ヲ加フ但シ外國人ナルハ澳國全疆
域外ニ放ツ可シ

第四百七十一條

細品鬻賣者行賣者及ヒ己ニ需用セ

ル古器賣買者若シ幼童者ニ對シ其物品ヲ買得スル

ルハ違式罪トシ本人及ヒ物品ノ性質ニ從ヒ五

デシ以上五十[グルデン]以下ノ罰金或ハ一日以上十

日以下ノ禁獄ニ處ス可シ

第四百七十二條

其再犯ニ於テハ罰金倍額或ハ通常

ノ罰金ノ外一日以上八日以下ノ禁獄又ハ罪狀ニ應

シ之ニ苛嚴ヲ加フルコトアル可シ然レモ己ニ數回連

續シテ犯爲シ自今改悟ス可キ目的ナキハ其職業

唯坊間普通業若クハ官許ニ係ルヲ間ハス總テ全ク

之ヲ禁ス特別ノ許可ナク復タ之ヲ營ムルハ本地無

期追放外國ナレハ之ヲ放テ永ク澳國全域内ニ入ル

ヲ禁ス可シ

第四百七十三條

寶石及ヒ飾具商賣人若クハ金銀細

工師ニ對シ諸種寶石金銀飾物ノ買入ヲ乞フ者ア

リ景況ヲ察スルニ其販賣者所有主ニ非ス又其使ニ

モ非サル者ノ如キハ直ニ其物品及ヒ其販賣者

ヲ引止メ委シク其由ヲ訊問シテ充分ノ確答ナキニ

於テハ速ニ該人ヲ所轄廳ヘ連レ出ルヲ要ス若シ此規則ヲ惰ルキハ違式罪トシ二十五「グルデン」以上百「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ

第四百七十四條 前條ノ場合ニ於テ其規則ヲ顧ミス妄リニ不審ノ販賣者ヨリ其物品ヲ買入スルキハ其物品ノ價額ニ應シ五「グルデン」以上五百「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ

第四百七十五條 金銀細工師ニ對シ他ノ許可アル者ノ名字記號ナキ金銀鑄潰物ヲ以テ其買入ヲ請フ者アレハ其販賣者ヲ引テ直々ニ之ヲ所轄廳ニ致ス可シ

若シ此規則ヲ放擲スルカ或ハ其鑄潰師ノ名字ヲ點セサル金銀類ヲ買入スルキハ之ヲ違式罪トシ前條ノ刑ニ處ス可シ

第四百七十六條 然レモ凡其販賣不相當ノ物品ニシテ蓋シ竊盜物ナランコノ疑アル物ヲ以テ其買入ヲ請ヒ或ハ之ヲ抵當トシ借財ヲ要ムル者ニ對シテハ唯リ商人若クハ職人ノミ之ヲ拘留シテ届ケ出ツ可キ義務アルノミナラス凡諸人皆斯ノ如キ者ニ會シテハ直々ニ留メテ委シク訊問ヲ爲シ確答ナキニ於

テハ之ヲ届出ツ可キトス
 故ニ右ノ場合ニ際シ之ヲ放擲シテ其責ヲ盡ササル
 者ハ第四百七十三條ニ從テ處刑ス可シ
 第四百七十七條 併ニ又商人職人ノ外各人不審ノ物
 品ヲ妄リニ買入スルカ或ハ之ヲ抵當トシ金錢ヲ貸
 スルハ違式罪トシ其物品價額ノ大小ニ應ジ二十五
 「グルデン」以上五百「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可シ
 第四百七十八條 諸種地方申其物品ノ販賣若クハ其
 勞役ノ備給ニ關シ特別ノ規則或ハ定價アルニ於テ
 ハ之ニ背テ高價ヲ貪リ凡斗量尺度假令其器不正ノ

モノニ非スト雖モソ用方販賣物ノ性質價值備給等
 特ニ頒布セル一定ノ法ニ由ラサルルハ其成例ニ本
 ツキ之ヲ刑ス可シ就中其高價ノ罪猶ホ未タ嚴刑ニ
 至ラサル間ハ之ヲ違式罪トシ本業禁止ニ處ス可シ
 第四百八十二條 極メテ須要敢テ措ク可ラサル日用
 食品ニ屬スル物ヲ販賣セル家業ニシテ其貯藏ヲ陰
 匿シ或ハ其乞賣人ニ對シ賣却ヲ背シセサルルハ之
 ナ違式罪トシ其賣却セサル物品須要ノ大小ニ應ジ
 十「グルデン」以上五十「グルデン」以下ノ罰金ニ處ス可
 シ再犯ニ於テハ其倍額又三犯ニ至レハ本營業禁止

ノ刑ニ處ス可シ
 第四百八十三條 第四百七十八條 四百七十九條 四百
 八十一條及ヒ第四百八十二條ノ如キ所業ニ依テ世
 ノ不穩ヲ醸成セシキ第四百七十八條 四百七十九條
 四百八十一條ニ關シテハ其通常ノ刑ヲ變シテ苛嚴
 トシ又四百八十二條ニ於テハ初犯ニ於テ直チニ本
 業禁止ノ刑ニ處ス可シ
 第四百八十四條 凡第四百八十二條ニ掲載セル物品
 隱匿或ハ販賣ヲ肯ンセサルヲ騷亂ノ時ニ方レハ其
 所業猶ホ未タ重罪ニ至ラサレハ本營業禁止ノ外一

月以上六月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ

○魯西亞

第八百八十一條 若シ或人が所轄官廳ノ允許ヲ得ス
 シテ藥舖ヲ建設スルキハ其藥舖ハ閉鎖セラレテ之
 ヨリ見出サレタル器具及ヒ貯品ハ悉ク地方公救場
 ノ爲メニ沒收セララル

第八百八十二條 確定シタル場所ニ藥舖ヲ保ツ可キ
 ノ允許ヲ有スル者ハ所轄廳ノ允許ヲ得スシテ其場
 所ヨリ他ノ場所ニ其藥舖ヲ轉移スルキハ二百一

ブル」以下ノ贖金ニ處セラレ且己ノ藥舖ヲ確定サレタル舊所ニ轉移セザル可ラス但シ其緊要ナル時ニハ然リトス

第八百八十三條 製造場ヨリ受得シ或ハ賣買ニ歸向スル所ノ粉藥品ヲ除クノ外他ノ粉藥品ヲ占賣或ハ小賣スル者又ハ醫師ノ調藥書ニ由テ藥品ヲ準備及ヒ調合スルヲ證徴セラレタル者初度ニ於テハ百ルトブル」以下ノ贖金再度ニ於テハ二百ルトブル」以下ノ贖金三度ニ於テハ五百ルトブル」以下ノ贖金ニ處セラレ且藥品商賣ヲ營ムヲ承ク禁止セララル

第八百八十四條 藥品ヲ調合スル爲メ並ニ調藥上ノ手術及ヒ調藥ニ尤重要ナル舍密上ノ手術ヲ行フカ爲メニ法律ヲ以テ決定シタル實物機械及ヒ器具ノ不足及ヒ粗惡ナルニ就キ又ハ藥舖ノ各種權衡ノ不足ナルニ就キ又ハ藥品ノ定價ナク或ハ醫療ヲ營ムノ權利アル醫師ノ名簿ナク或ハ藥舖ノ規則ナク或ハ緊要ノ編冊ナキニ就キ又ハ調藥方ヲ簿冊ニ記入セス及ヒ誤謬或ハ不正ヲ以テ記入シ又ハ緊要ノ清潔ヲ守ラサルニ就テハ其藥舖ヲ管理スル者又ハ藥舖ヲ所有シテ自ラ之ヲ管理スル者初度ニ於テハ地

方醫藥廳ノ嚴察再度ニ於テニ醫藥局ノ嚴譴ニ處セ
 ラル三度ニ於テハ六箇月ヨリ少カラス一年ヨリ多
 カラサル時間藥舗ノ管理ヲ退ケラル但シ一年間ニ
 三度斯ノ如キコアリシキハ然リトス
 官ノ藥舗ヲ管理スル者ニシテ斯ノ如キ缺謬アルヲ
 證徴セラレタル者初度ニ於テハ監察再度ニ於テハ
 其者ノ勤務帖ニ記載スル隨責三度以上ニ於テハ斯
 ノ如キ隨責ノ外三百ル以下ノ贖金ニ處セラ
 ル

第八百八十五條 毒物ノミナラス猶又劇物ヲ貯存後

賣或ハ使用スルニ方リ緊要ノ戒慎ヲ守ラサルニ就
 キ其藥舗ヲ管理スル者ハ藥舗ヲ管理スルノ權利ヲ
 永ク剝奪セララル而シテ若シ其者所有主タルキハ其
 藥舗ヲ所有スルノ權利ヲモ永ク剝奪セララル可シ
 官ノ藥舗ヲ管理スル者ハ之カ爲メニ免職ニ處セラ
 ル

第八百八十六條 藥舗ヲ管理スル者ハ彼ノ藥舗ノ舍

密所ニ於テ準備セサル可ラサル合藥ヲ製造場主或
 ハ藥品商人ヨリ購買スルヲ法律ニ於テ允許スル場
 合ヲ除クノ外其合藥ヲ製造場主或ハ藥品商人ヨリ

購買スルニ就キ初度ニ於テハ五十ル以下ノ
 贖金再度ニ於テハ百ル以下ノ贖金ニ處セラ
 ル
 若シ其者一年間三度斯ノ如キ犯則アルノ罪人ト證
 セラル、キハ一年ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサ
 ル時間藥舖ノ管理ヲ退ケラル
 好シテ藥舖ヲ管理スル者ガ己ヨリ出ス可キ贖金ヲ
 拂フノ身位ナキ場合ニ於テハ其贖金ハ此藥舖ノ所
 有主ヨリ科ス可シ
 第八百八十七條 藥舖ヲ管理スル者ニシテ火酒蒸溜

酒及ヒ其他ノ飲料賣物ヲ己カ藥舖ニ於テ製造スル
 ナ證徴セラレタル者ハ初度ニ於テハ百ル以下ノ
 下ノ贖金再度ニ於テハ五百ル以下ノ贖金ニ
 處セラル三度ニ於テハ藥舖ヲ管理スルノ權利ヲ永
 ク剝奪セラル而シテ若シ其者所有主タルキハ藥舖
 ナ所有スルノ權利ヲモ永ク剝奪セラル可シ
 其者ノ處ヨリ見出シタル火酒及ヒ其他ノ飲料賣物
 ハ沒收セララル
 (注目)此條及ヒ他ノ條ニ於テ確定シタル彼ノ藥舖ヲ
 所有スルノ權利ヲ永ク剝奪セララル、ノ場合ニ於テ

ハ其罪人已レニ属スル藥舗ヲ一年間ニ販賣セサル可ラス

然レモ亦此際ニ其藥舗ハ地方醫藥廳ノ處分ニ依テ他ノ者ニ管理セラレ可シ

第八百八十八條 若シ官ノ藥舗ヲ管理スル者ハ地方

醫藥廳ヨリ已レニ委任セラレ、舍密裁判ノ糾追ヲ

法律上爲サ、ル可ラサルニ法律上ノ特別ナル事故

ナクシテ之ヲ爲サ、ルモハ初度ニ於テハ勤務帖ニ

記載スル嚴譴再度ニ於テハ免職ニ處セラレ

若シ又好シテ藥舗ヲ管理スル者ハ官ノ藥舗ナキ場

所或ハ官ノ藥舗ガ斯ノ如キ糾追ノ處分ヲ免レタル

場所ニ招カレテ亦法律上ノ特別ナル事故ナク之ヲ

辭スルモハ其者初度及再度ニ於テハ五十ル―ブル

以下ノ贖金ニ處セラレ三度ニ於テハ藥舗ヲ管理ス

ルノ權利ヲ永ク剝奪セラレ而シテ若シ其者所有主

タルモハ其藥舗ヲ所有スルノ權利ヲモ永ク剝奪セ

ラル可シ

第八百八十九條 所轄學校ニ於テ藥舗主、副藥舗主、藥

舗ノ補助人或ハ書生ニ允當ナラザリシ者又ハ調藥

術ヲ實行スルノ權利ヲ失ヒシ者ヲ其藥舗主、副藥舗

主藥舖ノ補助人或ハ書生ニ採用シ或ハ既ニ他ノ藥舖ニ在リシ者ノ行狀證書ナキニ之ヲ採用シ並ニ調藥者ヲ採用及ヒ放免スル毎ニ之ヲ地方ノ醫藥廳ニ告知セス及ヒ緊要ノ時ニ於テ其者ノ行狀才能及ヒ調藥術ニ關スル記印アル名簿ヲ呈出セサルニ就キ其藥舖ヲ管理スル者ハ嚴譴再度斯ノ如キ缺謬アルヲ證徴セラレタル者ハ百[ル]トアル以下ノ贖金ニ處セラレ

第八百九十條 藥舖ヲ管理スル者或ハ藥舖ヲ所有スル者ニシテ己ノ職務ニ不注意ナルヲ證徴セラレテ

官廳ノ監察及ヒ譴責ヲ受ケタル後ト雖モ猶ホ改心セサル者ハ藥舖ヲ管理スルノ權利ヲ永ク剝奪セラレ而シテ若シ其者ハ所有主タルキニ其藥舖ヲ所有スルノ權利ヲモ永ク剝奪セラレ可シ

第八百九十一條 藥舖ニ在ル調藥者及ヒ書生ニシテ藥品ヲ準備貯存及ヒ發賣シ又ハ簿冊ニ記入シ及ヒ規則ニ注意スル等ニ際シ其藥舖ヲ管理スル者ノ使令ヲ遵守セサル者及ヒ缺謬及ヒ不正アルガ爲ニ屢々官廳ノ監察及ヒ譴責ヲ受ケタル者ハ其罪科ノ輕重ニ依リ一年或ハ二年及ヒ三年或ハ永ク調藥術

ヲ實行スルノ權利ヲ剝奪セララル

第九百十三條 商人が食糧ノ價直ヲ騰貴スルニ密謀
約定或ハ其他ノ同意ヲ爲ス罪人ハ此刑法第千百八
十條ニ確定シタル刑罰及ヒ贖金ニ處セララル

第千二百七十五條 市場ノ委員ニ告ケス及ヒ市場ノ
經費及ヒ其他市場ニ關スル經濟ノ入用ニ定メタル
金額ヲ拂ハスシテ以テ己レカ商業ノ爲ニ市場ヲ訪
尋スル者ハ三十「ル」以下ノ贖金ニ處セララル
シテ其贖金ヲ拂フマテハ市場ニ入ルヲ禁止セララル
可シ

第千二百七十六條 市場ノ訪尋者ヲ侮辱スルノ不敬
ヲ爲シ或ハ商人ニ障礙ヲ爲ス罪人初度ニ於テハ七
「ル」以下ノ贖金再度ニ於テハ同
上ノ贖金ノ外市場長ニ由テ市場ノ集會ヨリ放出セ
ラル可シ

第千二百七十七條 市場ヲ訪尋スル者ノ中ニテ故サ
ラニ商賣ノ爲ニ有害ナル報告ヲ其市場ニ傳播スル
ヲ證徴セララル者ハ此刑法第五十條ニ依リ特權幾
分ノ剝奪ヲ以テ八箇月ヨリ少カラス一年四箇月ヨ
リ多カラサル時間ノ懲治舍内禁錮ニ處セララル

斯ノ如キ傳播ヨリシテ損失ヲ蒙ルタル者ニハ罪人ニ對シテ定規ノ如ク返償ヲ督促スルヲ任ス可シ
 第一千二百七十八條 法ニ背テ賣買ノ世話ヲ爲シ及商賣ヲ害シ並ニ市場世話人ノ收額ヲ損スルト見認メラル、者ハ初度ニ於テハ賣買世話人ノ口錢ニ歸ス可キ金額十倍以下ノ贖金ニ處セラル
 但シ其贖金ノ一半ハ告知人ニ付與シテ其他ノ一半ハ甚々老年ナル歟又ハ既ニ職業ニ不適當ナルノ市場世話人ヲ扶助スルノ資金ニ算入ス可シ
 再度ニ於テハ市場ノ集會ニ入ルヲ禁止セラル而シ

テ其者ノ名稱ハ市場ノ客堂ニ揭示セラル可シ
 若シ斯ノ如キ言渡ヲ受タル者ハ禁止ニ背テ市場ノ集會ニ顯出スルルハ三日ヨリ少カラス七日ヨリ多カラサル時間ノ拘留及六百ル以下ノ贖金ニ處セラル但シ其贖金ハ市場ノ資金ニ供ス可シ
 「オデッサ」及「キエフ」ノ市場ニ於テ法ニ背キ賣買ノ世話ヲ爲スノ罪人ハ賣買世話人ノ口錢ニ歸ス可キ金額ノ十倍ヨリ多カラサル贖金ノ代リニ初度ニ於テハ賣買世話人ノ口錢ニ歸ス可キ金額ノ五倍ヨリ多カラサル贖金ニ處セラル可シ